

基本計画書

基本計画書									
事項	記入欄								備考
計画の区分	医学部の収容定員変更								
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジン アサヒカワイカダイガク 国立大学法人 旭川医科大学								
フリガナ大学の名称	アサヒカワイカダイガク 旭川医科大学 (Asahikawa Medicaj College)								
大学本部の位置	北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号								
大学の目的	国立大学法人法(平成15年法律第112号)、教育基本法(昭和22年法律第25号)及び学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、進歩した医学及び看護学を教授研究するとともに人命尊重を第一義とし、医の倫理に徹した人格高潔な医師及び医学研究者並びに豊かな教養と人格を備えた看護職者及び看護学研究者を育成することを目的とする。								
新設学部等の目的	平成22年6月18日に閣議決定された「新成長戦略」を踏まえ、北海道内における医師定着を図り、医師不足を解消することを目的として、医学部医学科の入学定員の増員(2人)を行うものである。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	医学部 医学科	6年	107人 (105)	10人 2年次	644人 (640)	学士(医学)	平成30年4月 第1年次	北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号	
	看護学科	4年	60人	10人 3年次	260人	学士(看護学)	平成8年4月 第1年次	北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号	
	医学系研究科 修士課程 看護学専攻	2年	16人	-	32人	修士(看護学)	平成12年4月 第1年次	北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号	
	博士課程 医学専攻	4年	15人	-	60人	博士(医学)	平成19年4月 第1年次	北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号	
	計		198人 (196)	20人	996人 (992)				
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	-	講義	演習	実習	計	-			
		科目	科目	科目	科目	-			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
	医学部 医学科		39人 (39)	27人 (27)	55人 (55)	129人 (129)	250人 (250)	0人 (0)	59人 (59)
	看護学科		10人 (10)	5人 (5)	4人 (4)	9人 (9)	28人 (28)	0人 (0)	68人 (68)
	医学系研究科 博士課程医学専攻		39人 (39)	27人 (27)	55人 (55)	129人 (129)	250人 (250)	0人 (0)	59人 (59)
	修士課程看護学専攻		10人 (10)	5人 (5)	4人 (4)	9人 (9)	28人 (28)	0人 (0)	68人 (68)
	一般教育		7人 (7)	5人 (5)	4人 (4)	6人 (6)	22人 (22)	0人 (0)	-
	教育研究推進センター		1人 (1)	4人 (4)	-	-	5人 (5)	0人 (0)	-
	入学センター		1人 (1)	-	-	-	1人 (1)	0人 (0)	-
	教育センター		2人 (2)	-	1人 (1)	-	3人 (3)	0人 (0)	-
	脳機能医工学研究センター		1人 (1)	1人 (1)	-	1人 (1)	3人 (3)	0人 (0)	-
	知的財産センター		-	-	1人 (1)	-	1人 (1)	0人 (0)	-
	保健管理センター		1人 (1)	-	-	-	1人 (1)	0人 (0)	-
	復職・子育て・介護支援センター		-	-	-	1人 (1)	1人 (1)	0人 (0)	-
計		62人 (62)	42人 (42)	65人 (65)	146人 (146)	315人 (315)	0人 (0)	127人 (127)	
既設分	なし	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	
合計		62人 (62)	42人 (42)	65人 (65)	146人 (146)	315人 (315)	0人 (0)	127人 (127)	

()内は平成29年度を期限とする医学部臨時定員の再度の定員増を行わなかった場合の、入学定員、編入学定員及び収容定員となる。
また、医学部医学科の平成29年度の入学定員112名のうち7名はH21年度に「緊急医師確保対策」により臨時定員増を、うち5名はH21年度に「経済財政改革基本方針2008」により恒久定員増を、またうち10名はH22年度に「経済財政改革基本方針2009」により臨時定員増を実施したものである。
また、平成29年度の編入学定員は二次編入が10名、収容定員は722名である。
今回の2名の入学定員の増員は平成29年度を期限とする医学部臨時定員の再度の定員増による平成31年度までの臨時定員増である。

教員以外の職員の概要	職 種		兼 任		計		大学全体				
	事 務 職 員		144 (144)	0 (0)	144 (144)						
	技 術 職 員		873 (873)	0 (0)	873 (873)						
	図 書 館 専 門 職 員		5 (5)	0 (0)	5 (5)						
	そ の 他 の 職 員		4 (4)	0 (0)	4 (4)						
	計		1,026 (1,026)	0 (0)	1,026 (1,026)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			大学全体			
	校 舎 敷 地	89,246 m ²	0 m ²	0 m ²	89,246 m ²						
	運 動 場 用 地	61,692 m ²	0 m ²	0 m ²	61,692 m ²						
	小 計	150,938 m ²	0 m ²	0 m ²	150,938 m ²						
	そ の 他	9,353 m ²	0 m ²	0 m ²	9,353 m ²						
合 計	160,291 m ²	0 m ²	0 m ²	160,291 m ²							
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			大学全体			
		46,527 m ² (46,527 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	46,527 m ² (46,527 m ²)						
教 室 等	講義室 14 室	演習室 5 室	実験実習室 15 室	情報処理学習施設 1 室 (補助職員 1人)	語学学習施設 1 室 (補助職員 0人)						
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称 大学全体		室 数		132 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体			
	大学全体	160,864 [69,367] (160,864 [69,367])	4,216 [1,733] (4,216 [1,733])	3,770 [3,770] (3,770 [3,770])	3,253 (3,253)	13 (13)	0 (0)				
	計	160,864 [73,070] (160,864 [69,367])	4,216 [1,733] (4,216 [1,733])	3,770 [3,770] (3,770 [3,770])	3,253 (3,253)	13 (13)	0 (0)				
	図書館	面積 2,735 m ²	閲覧席席数 288		収 納 可 能 冊 数 139,417						
体育館	面積 1,082 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体			
		武道館 テニスコート 6面	陸上競技場 弓道場	野球場 サッカー場・ラグビー場							
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による	
		教員1人当り研究費等	—	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
		共同研究費等	—	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
		図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
		設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
学生納付金以外の維持方法の概要		—									
既設大学等の状況	大学の名称	旭川医科大学									
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	医学部 医学科	年	人	年次 2年次 10	人	722	学士(医学)	1.00	平成22年度	北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号	
	看護学科	4	60	3年次 10	260	学士(看護学)	1.00	平成8年度			
	医学系研究科 修士課程 看護学専攻	2	16	—	32	修士(看護学)	1.09	平成12年度	北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号		
	博士課程 医学専攻	4	15	—	45	博士(医学)	1.13	平成19年度			
	細胞・器官系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	昭和54年度			
	生体情報調節系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	昭和54年度			
	生体防御機構系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	昭和54年度			
	人間生態系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	昭和54年度			
附属施設の概要	名 称 : 旭川医科大学病院 目 的 : 医学教育、研究及び診療 所 在 地 : 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 設置年月 : 昭和51年5月 規 模 等 : 敷地 71,537 m ² 建物面積 60,513 m ²										

移行表

平成30年度
(医学部定員増をしなかった場合)

入学
定員

編入学
定員

収容
定員

平成30年度
(医学部定員増をした場合)

入学
定員

編入学
定員

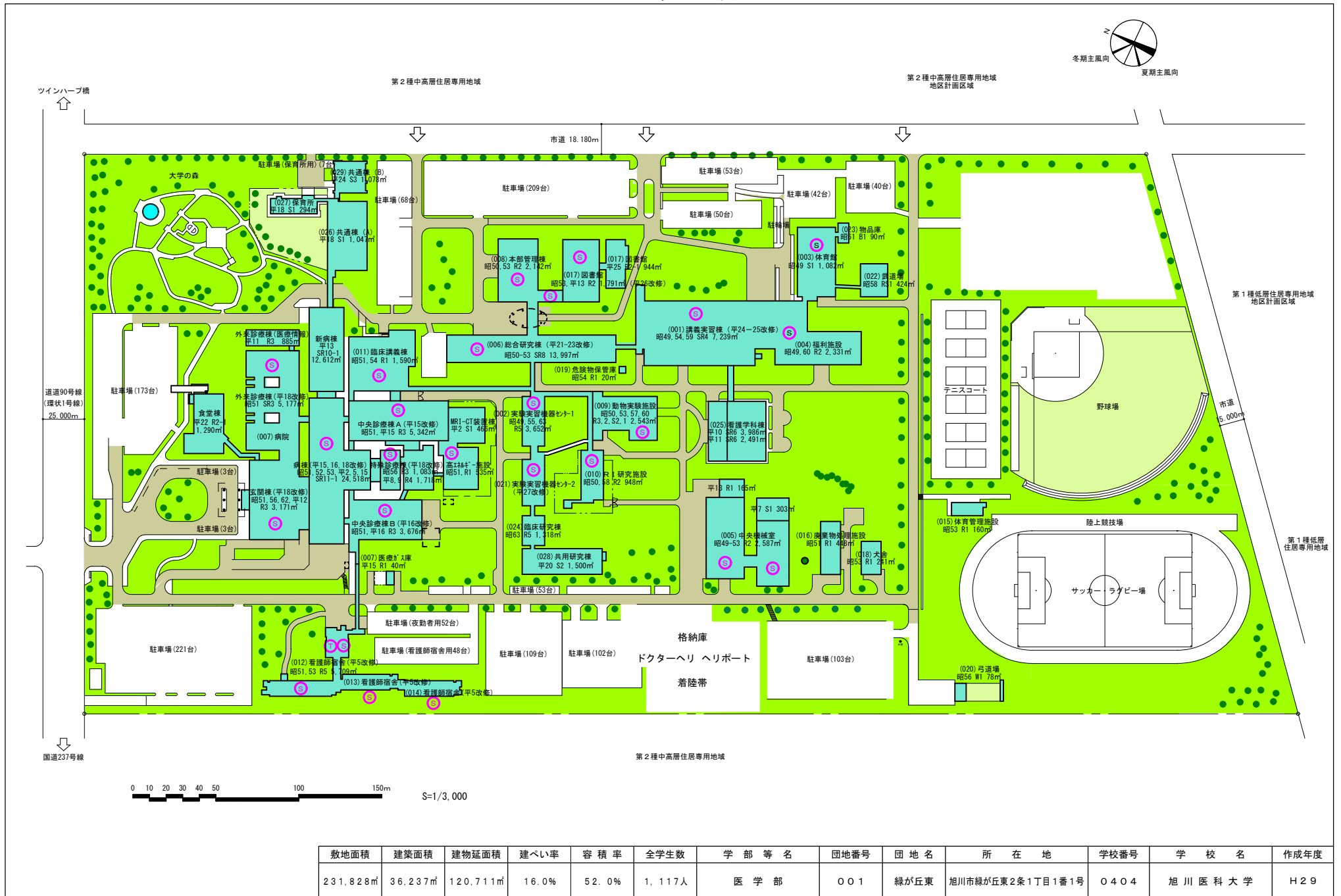
収容
定員

変更の事由

旭川医科大学			
医学部			
医学科	2年次 <u>105</u>	10	<u>640</u>
看護学科	3年次 60	10	
<hr/>			
計	2年次 <u>165</u>	10	3年次 <u>640</u> 10
旭川医科大学大学院			
医学系研究科			
看護学専攻(M)	16	-	32
医学専攻(D)	15	-	60
<hr/>			
計	31	-	92

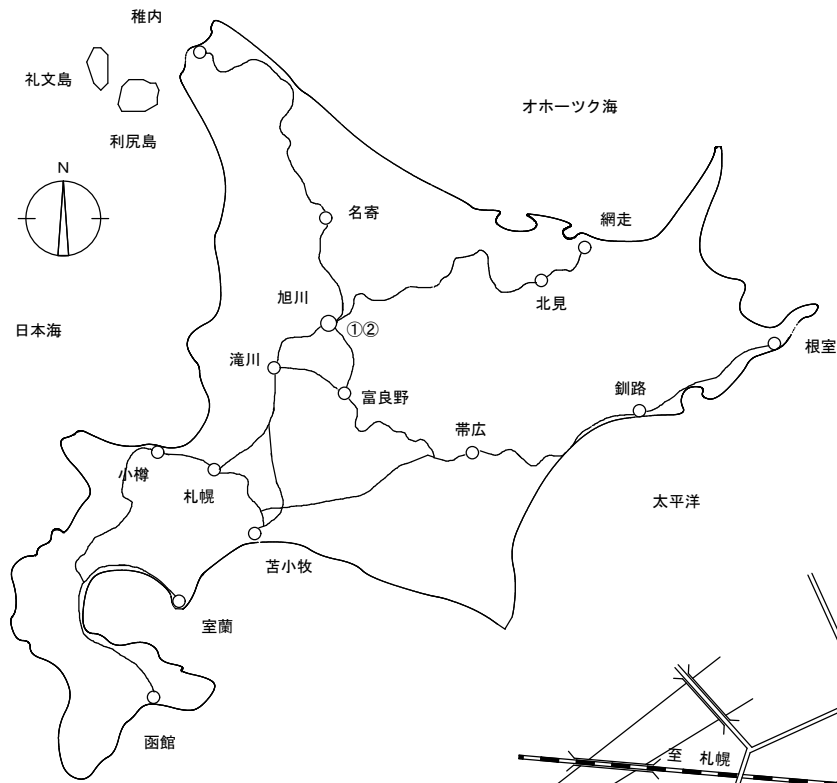
旭川医科大学				
医学部				
医学科	2年次 <u>107</u>	10	<u>644</u>	定員変更(2)
看護学科	3年次 60	10		
<hr/>				
計	2年次 <u>167</u>	10	3年次 <u>644</u> 10	
旭川医科大学大学院				
医学系研究科				
看護学専攻(M)	16	-	32	
医学専攻(D)	15	-	60	
<hr/>				
計	31	-	92	

配置図

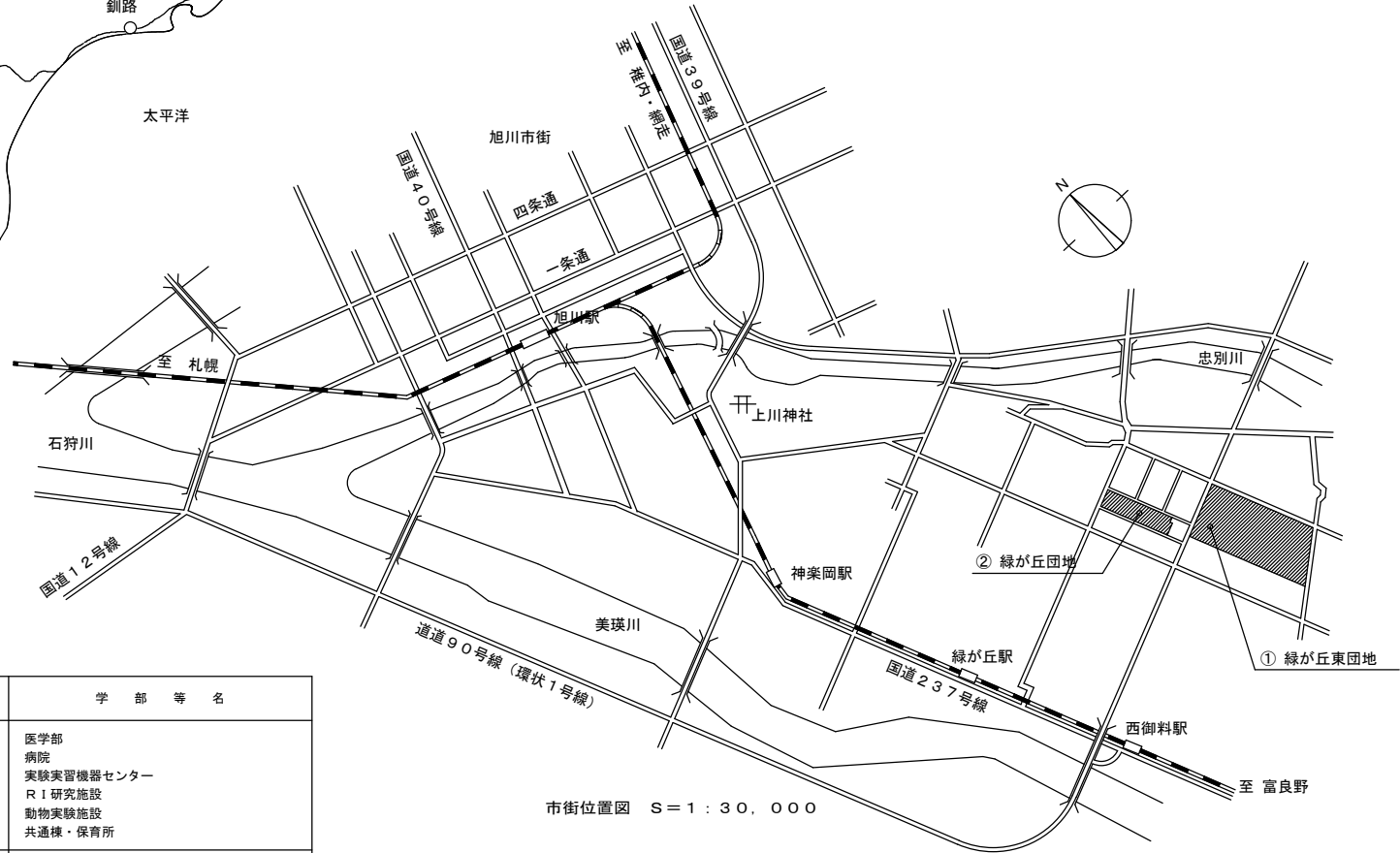


敷地面積	建築面積	建物延面積	建ぺい率	容積率	全学生数	学部等名	団地番号	団地名	所在地	学校番号	学校名	作成年度
231,828㎡	36,237㎡	120,711㎡	16.0%	52.0%	1,117人	医学部	001	緑が丘東	旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号	0404	旭川医科大学	H29

案 内 図



道内位置図 S=1:3,000,000



市街位置図 S=1:30,000

番号	団地番号	団地名	所在地	学部等名
1	001	緑が丘東団地	旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号	医学部 病院 実験実習機器センター R1研究施設 動物実験施設 共通棟・保育所
2	002	緑が丘団地	旭川市緑が丘2条3丁目 旭川市緑が丘2条4丁目	職員宿舎・国際交流センター・研修医宿泊施設 職員宿舎・共用実験棟

学校番号	学校名	作成年度
0404	旭川医科大学	H29

○旭川医科大学学則

平成16年4月6日

旭医大達第150号

最近改正 平成 年 月 日旭医大達第 号

第1章 総則

(目的及び使命)

第1条 旭川医科大学（以下「本学」という。）は、国立大学法人法（平成15年法律第112号）、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、進歩した医学及び看護学を教授研究するとともに人命尊重を第一義とし、医の倫理に徹した人格高潔な医師及び医学研究者並びに豊かな教養と人格を備えた看護職者及び看護学研究者を育成することを目的とし、医学及び看護学水準の向上と社会の福祉に貢献することを使命とする。

(学部の組織)

第2条 本学に医学部を置く。

2 医学部に医学科及び看護学科を置く。

(講座及び学科目)

第3条 医学部における講座及び学科目は、別に定める。

(学生定員)

第4条 医学科の学生定員は、入学定員95人、第2年次編入学定員10人、収容定員620人とし、看護学科の学生定員は、入学定員60人、第3年次編入学定員10人、収容定員260人とする。

第2章 修業年限及び在学期間

(修業年限)

第5条 医学科の修業年限は、6年（第2年次編入学者は5年）とし、看護学科の修業年限は、4年（第3年次編入学者は2年）とする。

(在学期間)

第6条 医学科の在学期間は、12年（第2年次編入学者は10年）、看護学科の在学期間は、8年（第3年次編入学者は4年）を超えることができない。ただし、同一学年に2年を超えて在学することはできない。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第7条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第8条 学期を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第9条 授業を行わない日（以下「休業日」という。）は、次のとおりとする。なお、第4号の休業期間は、毎年度学年暦により定めるものとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 本学記念日 11月5日
- (4) 春季、夏季及び冬季休業期間

2 臨時休業日は、その都度定める。

第4章 教育課程及び履修方法等
(教育課程)

第10条 医学科の授業科目は、基礎教育科目、Introduction to Clinical Medicine科目（以下「ICM科目」という。）、基礎医学科目及び臨床医学科目とする。

2 前項の授業科目の名称、単位数等については、別表1に定めるとおりとし、当該授業科目の履修年次は、別に定める。

3 看護学科の授業科目は、一般基礎科目、専門基礎科目及び専門科目とする。

4 前項の授業科目の名称、単位数等については、別表2に定めるとおりとし、当該授業科目の履修年次は、別に定める。

(授業の方法及び単位の計算方法)

第11条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 単位の計算方法は、別に定めるものを除き、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

(授業期間)

第12条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを標準とする。

(単位修得の認定)

第13条 単位修得の認定は、試験その他の審査によりこれを行う。

2 前項の試験及び審査の方法並びに学習の評価については、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第14条 本学が教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に他の大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項により履修した授業科目について修得した単位は、別に定めるところにより60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

3 前2項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第15条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第2項及び第3項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第16条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学若しくは短期大学又は専修学校において履修した授業科目について修得した単位(大学設置基準(昭和

31年文部省令第28号) 第31条に規定する科目等履修生として履修した授業科目について修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第14条第2項及び第3項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第5章 入学

(入学の時期)

第17条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第18条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(入学の出願)

第19条 本学への入学を志願する者(以下「入学志願者」という。)は、入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて、学長に願出しなければならない。

(入学者の選考)

第20条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第21条 前条の規定による選考の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、入学誓約書その他所定の書類を学長に提出するとともに、所定の入学料を納付しなければならない。

2 学長は、前項に規定する入学手続を終えた者に入学を許可する。

(医学科の再入学、編入学及び転入学)

第22条 次の各号の一に該当する者で、医学科への入学を志願するものがあるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、医学科の相当の学年に入学を許可することがある。

- (1) 本学医学科の中途退学者で、再び入学を志願するもの

- (2) 他の大学において進学課程を修了した者で、入学を志願するもの
- (3) 他の大学の医学部医学科に在学中の者で、入学を志願するもの

2 前項の取扱いについては、別に定める。

(医学科の第2年次編入学)

第23条 次の各号の一に該当する者（ただし、医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。）で、医学科への入学を志願するものは、選考の上、定員の範囲内で、第2年次への入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 大学院修士課程又は博士課程を修了した者
- (4) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

2 前項の取扱いについては、別に定める。

(看護学科の再入学、編入学及び転入学)

第24条 次の各号の一に該当する者で、看護学科への入学を志願するものがあるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、看護学科の相当の学年に入学を許可することがある。

- (1) 本学の中途退学者で、再び入学を志願するもの
- (2) 他の大学を卒業した者で、入学を志願するもの
- (3) 他の大学に在学中の者で、入学を志願するもの

2 前項の取扱いについては、別に定める。

(看護学科の第3年次編入学)

第25条 次の各号の一に該当する者で、看護学科への入学を志願するものは、選考の上、定員の範囲内で、第3年次への入学を許可する。

- (1) 看護系の大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者
- (2) 短期大学の看護学科を卒業した者
- (3) 大学を卒業し、看護に関する所定の単位を修得した者
- (4) 学校教育法第132条に定める者で看護系専修学校の専門課程を修了したもの
- (5) 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する者で、看護師国家試験受験資格を得る課程を修了したものに限り。）

2 前項の取扱いについては、別に定める。

第6章 休学，復学，転学，留学，退学及び除籍

(休学)

第26条 疾病その他やむを得ない事由により2か月以上修学することができない者は，医師の診断書又は詳細な理由書を添えて保証人連署で学長に願い出て，その許可を受けて休学することができる。

2 病気その他の事由により修学することが不相当と認められる者については，学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第27条 休学期間は，引き続き2年を超えることができない。

2 休学期間は，通算して4年（看護学科第3年次編入学者は2年）を超えることができない。

3 休学期間は，第6条の在学期間には算入しない。

(復学)

第28条 休学期間中にその事由が消滅した場合は，学長の許可を受けて復学することができる。

(転学)

第29条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は，保証人連署で学長に詳細な理由を記した転学願を提出して，その許可を受けなければならない。

(留学)

第30条 学部において，教育上有益と認めるときは，学生が外国の大学又は短期大学に留学することを認めることができる。

2 留学期間は，第6条の在学期間に算入する。

(退学)

第31条 疾病その他やむを得ない事由により退学しようとする者は，その事実を証する書類を添え，保証人連署で学長に退学願を提出して，その許可を受けなければならない。

(除籍)

第32条 次の各号の一に該当する者は，教授会の議を経て，学長はこれを除籍することができる。

- (1) 入学料の免除又は徴収猶予を願い出て許可されなかった者又は入学料の半額又は一部を免除された者で，納付すべき入学料の納付を怠り，督促してもなお納付しないもの
- (2) 授業料の納付を怠り，督促してもなお納付しない者
- (3) 第6条に規定する在学期間を超えた者
- (4) 第27条第1項及び第2項に規定する休学期間を超えてなお修学できない者
- (5) 長期間にわたり行方不明の者

第7章 卒業及び学士

(卒業の要件)

第33条 医学科の卒業の要件は，6年（第2年次編入学者は，5年）以上在学し，別表1に定めるところにより，218単位以上を修得することとする。

2 看護学科の卒業の要件は，4年（第3年次編入学者は，2年）以上在学し，別表2に定めるところにより，124単位以上を修得することとする。

(卒業及び学位の授与)

第34条 学長は，前条の要件をそなえた者については教授会の議を経て卒業を認定し，旭川医科大学学位規程（平成16年旭医大達第104号）の定めるところにより，学士の学位を授与する。

第8章 検定料，入学料及び授業料

(検定料)

第35条 入学志願者は，出願と同時に検定料を納付しなければならない。

(入学料)

第36条 入学料は，入学を許可されるときに納付しなければならない。

(入学料の免除及び徴収猶予)

第37条 第21条及び前条の規定にかかわらず，特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては，入学する者の申請により入学料の全額，半額若しくは一部を免除し，又は徴収を猶予することができる。

2 入学料の免除及び徴収猶予に関し必要な事項は，別に定める。

(授業料)

第38条 授業料は，毎年度について，前期及び後期の2期に区分し，それぞれの期において年額の2分の1に相当する額を，前期にあつては4月，後期にあつては10月に納付しなければならない。ただし，入学した日の属する期の授業料については，5月に納付しなければならない。

2 前項における納付期限は，別に定める。

3 前2項の規定にかかわらず，学生の申出により，前期に係る授業料を納付するときに，当該年度の後期に係る授業料を併せて納付することができる。

4 入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については，第1項及び第2項の規定にかかわらず，入学を許可される者の申出により，入学を許可されるときに納付することができる。

(休学の場合における授業料)

第39条 前期又は後期の全期間を通じて休学することを許可された者又は休学を命ぜられた者は当該期分の授業料を免除する。

2 前期又は後期の期間の一部について休学することを許可された者又は休学を命ぜられた者は，授業料年額の12分の1に相当する額に，休学期間初日の属する月の翌月（休学期間の初日が月の初日であるときは，当該月）から休学期間の末日の属する月の前月（休学期間の末日が月の末日であるときは，当該月）までの月数を乗じて得た額の授業料を免除する。ただし，前期にあつては4月末日までに，後期にあつては10月末日までに休学することを許可されていない者又は休学を命ぜられていない者の当該期分の授業料については，この限りでない。

(復学の場合における授業料)

第40条 前期又は後期中途において復学した者の当該期の授業料は，月割計算により，復学した月から次の納付期の前月までに相当する額を，復学した月に納付しなければならない。

(退学等の場合における授業料)

第41条 前期又は後期中途で退学し，又は除籍された者の当該期分の授業料は徴収する。ただし，死亡した者並びに行方不明又は授業料の未納を理由として除籍された者及び授業料の未納者で入学料の未納を理由として除籍されたものの未納の授業料については，この限りでない。

2 停学期間中の授業料は，徴収する。

(授業料の免除及び徴収の猶予)

第42条 経済的理由によって授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者

又はその他やむを得ない事情があると認められる者は、本人等の申請により授業料の全部若しくは一部を免除又は徴収を猶予することがある。

2 授業料の免除及び徴収の猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(免除又は猶予事由の消滅に伴う授業料)

第43条 前条の規定により授業料を免除され、又は徴収を猶予されている者が、その事由を失ったときは、その月から所定の期日に授業料を納付しなければならない。

(検定料、入学料及び授業料の額並びに徴収方法等)

第44条 検定料、入学料及び授業料の額、徴収方法等は、この学則に定めるもののほか、学長が別に定めるところによる。

(既納の検定料、入学料及び授業料)

第45条 既納の検定料、入学料及び授業料は、これを返還しない。ただし、次の各号の一に該当する場合には、当該各号に定める額を返還する。

(1) 第35条の規定により検定料を納付した者が、2段階選抜を実施する入学選抜において第1段階目の選抜で不合格となった場合又は本学学力検査出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合には、納付した者の申出により、それぞれ学長が別に定めるところによる第2段階目の選抜に係る検定料に相当する額又は学長が別に定めるところによる検定料との差に相当する額

(2) 第38条第3項及び第4項の規定により授業料を納付した者が、後期分授業料の納付時期前に休学又は退学した場合には後期分の授業料に相当する額

(3) 第38条第4項の規定により授業料を納付した者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料に相当する額

第9章 聴講生、特別聴講学生、研究生、科目等履修生及び外国人留学生

(聴講生)

第46条 本学所定の授業科目中、1科目又は数科目について聴講を志願する者があるときは、教育に支障のない場合に限り、選考の上、聴講生としての入学を許可することがある。

(特別聴講学生)

第47条 他の大学又は外国の大学との協議に基づき当該大学に在学中の者を、特別聴講学生として、本学において授業科目を履修させることがある。

(研究生)

第48条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、本学において適当と認め、かつ、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

(科目等履修生)

第49条 本学の学生以外の者で、本学が開設する授業科目の中から一又は複数の授業科目の履修を志願するものがあるときは、教育に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

(外国人留学生)

第50条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

(聴講生、特別聴講学生、研究生、科目等履修生及び外国人留学生)

第51条 聴講生、特別聴講学生、研究生、科目等履修生及び外国人留学生に関する規程は、別に定める。

第10章 表彰及び懲戒

(表彰)

第52条 学業又は他の業績が特に優秀な者については、学長が表彰することができる。

2 前項の取り扱いについては、別に定める。

(懲戒)

第53条 本学則、その他本学の諸規程に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがない者

(2) 正当な理由がなくて長期間にわたって出席しない者

(3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第11章 関連教育病院

(関連教育病院)

第54条 本学は、学生に対する臨床教育を行うために、国公立又は法人の設立する病院との協議に基づいて、当該病院において、学生に特定の授業科目を履修させることができる。

2 前項の取扱いについては、別に定める。

第12章 公開講座

(公開講座)

第55条 地域社会の発展に寄与し、社会人の教養を高め、及び文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この学則は、平成16年4月6日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

2 平成16年3月31日現在、国立学校設置法（昭和24年法律第150号）に基づき設置された旭川医科大学（以下「旧大学」という。）に在学する学生で、平成16年4月1日以降も旧大学に在学する予定であった者は、別に当該学生が意思表示をしない限り、平成16年4月1日に国立大学法人旭川医科大学が設置する本学に承継し、この学則を適用する。この場合において、当該学生に適用されていた学則その他の規程については、なお従前の例による。

附 則（平成17年3月10日旭医大達第8号）

1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

2 この学則の施行前に大学入学資格検定に合格した者は、改正後の学則第18条第6号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成17年10月24日旭医大達第55号）

この学則は、平成17年12月1日から施行する。

附 則（平成18年2月8日旭医大達第5号）

1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成18年3月31日に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成18年4月1日以降に在学者の属する学年に入学する者については、改正後の学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成18年5月11日旭医大達第45号）

この学則は、平成18年5月11日から施行し、平成17年12月1日から適用する。

附 則（平成18年6月21日旭医大達第86号）

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成19年4月1日以降に在学者の属する学年に入学する者については、改正後の学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成18年10月27日旭医大達第92号）

この学則は、平成18年10月27日から施行する。

附 則（平成19年12月26日旭医大達第76号）

この学則は、平成19年12月26日から施行する。

附 則（平成20年3月26日旭医大達第26号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降に在学者の属する学年に入学する者については、改正後の学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年6月18日旭医大達第51号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降に在学者の属する学年に入学する者については、改正後の学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年1月14日旭医大達第3号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降に在学者の属する学年に入学する者については、改正後の学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年2月18日旭医大達第5号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 医学科の学生定員は、改正後の学則第4条の規定にかかわらず、平成21年度から平成29年度までの入学定員及び平成21年度から平成34年度までの収容定員は、次表によるものとする。

区分	入学定員	収容定員
平成21年度	102人	602人
平成22年度	102人	614人
平成23年度	102人	626人
平成24年度	102人	638人
平成25年度	102人	650人
平成26年度	102人	662人
平成27年度	102人	662人
平成28年度	102人	662人
平成29年度	102人	662人
平成30年度	—	655人
平成31年度	—	648人
平成32年度	—	641人
平成33年度	—	634人
平成34年度	—	627人

附 則（平成22年1月13日旭医大達第1号）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 医学科の学生定員は、学則第4条の規定にかかわらず、平成22年度から平成31年度までの入学定員及び平成22年度から平成36年度までの収容定員は、次表によるものとする。

区分	入学定員	収容定員
平成22年度	112人	624人
平成23年度	112人	646人
平成24年度	112人	668人
平成25年度	112人	690人
平成26年度	112人	712人
平成27年度	112人	722人
平成28年度	112人	722人
平成29年度	112人	722人
平成30年度	107人	717人
平成31年度	107人	712人
平成32年度	—	695人
平成33年度	—	678人
平成34年度	—	661人
平成35年度	—	644人
平成36年度	—	632人

附 則（平成23年1月12日旭医大達第95号）

この学則は、平成23年1月12日から施行し、改正後の第37条の規定は、平成22年4月1日から適用する。

附 則（平成23年7月13日旭医大達第154号）

- 1 この学則は、平成23年7月13日から施行する。ただし、第10条及び第33条の改正規定は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に入学する者については、改正後の第10条及び第33条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月19日旭医大達第36号）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成27年1月14日旭医大達第6号）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に入学する者については、改正後の学則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年6月22日旭医大達第25号）

この学則は、平成28年6月22日から施行し、改正後の第23条第1項及び第25条第1項の規定は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月6日旭医大達第4号）

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成 年 月 日旭医大達第 号）

この学則は、平成 年 月 日から施行する。

別表1 (第10条第2項関係)

区分	授業科目	単位数	授業形式	必修・選択の別
基礎教育科目	医学英語ⅠA	1	演習	必修
	医学英語ⅠB	1	〃	
	医学英語ⅡA	1	〃	
	医学英語ⅡB	1	〃	
	医学英語Ⅲ	1	〃	
	自然科学入門(物理系)	1	講義	選択必修(1単位)
	自然科学入門(化学系)	1	〃	
	自然科学入門(生物系)	1	〃	
	基礎生物学	3	講義	必修
	医用物理学	4	〃	
	情報統計学	2	〃	
	基礎化学	3	〃	
	心理学	2	〃	
	発生遺伝学	1	〃	
	分子生物学	1	〃	
	基礎生物学実習	1	実習	
	医用物理学実習	1	〃	
	統計学実習	1	〃	
	基礎化学実習	0.5	〃	
	心理・コミュニケーション実習	1	〃	
	哲学基礎	1	講義	選択
	教育学	1	〃	
	教養論	1	〃	
	言葉と文化	1	〃	
	医療文化史	1	〃	
	医系文学	1	〃	
	法学	1	〃	
	経済学	1	〃	
	社会学Ⅰ	1	〃	
	社会学Ⅱ	1	〃	
	地域社会論	1	〃	
	現代言語学概論	1	〃	
	感情心理学	1	〃	
	社会福祉論	1	〃	
	医療人間学	1	〃	
	比較文化論	1	〃	
	環境科学	1	〃	
	数学概論	1	〃	
	社会の中の物理	1	〃	

医学古典講読		2	//	
ドイツ語講読		2	//	
フランス語講読		2	//	
ロシア語講読		2	//	
中国語講読		2	//	
医療のラテン語		1	//	
心身論		1	//	
医事評論抄読		1	//	
世相史		1	//	
青少年文化論		1	//	
科学論文の読み方・書き方		1	//	
教養連携科目Ⅰ		1	//	
教養連携科目Ⅱ		2	//	
小計	(必修)	26.5		
	(選択)	38		

※ 教養連携科目Ⅰ及び教養連携科目Ⅱは、複数の講義題目により行われ、それぞれ一の授業科目として履修することができる。

区分	授業科目	単位数	授業形式	必修・選択の別		
ICM科目	早期体験実習Ⅰ	1	実習	必修		
	早期体験実習Ⅱ	1	//			
	地域医療学	1	講義			
	医学チュートリアルⅠ	1	演習			
	医学チュートリアルⅡ	1	//			
	医学チュートリアルⅢ	1	//			
	医学チュートリアルⅣ	1	//			
	医学チュートリアルⅤ	1	//			
	医療社会学	1	講義			
	医療社会学実習	1	実習			
	医療概論Ⅰ	1	講義			
	医療概論Ⅱ	1	//			
	医療概論Ⅲ	1	//			
	医療概論Ⅳ	1	//			
	医療情報学	1	//			
	医療安全	1	//			
	医学研究特論	5	演習			
	選択必修コースⅠ	1	講義		複数のコースから一つを選択	
	選択必修コースⅡ	1	//			
	選択必修コースⅢ	1	//			
	小計	(必修)	24			

区分	授業科目	単位数	授業形式	必修・選択の別
基礎医 学科目	機能形態基礎医学Ⅰ	3	講義	必修
	機能形態基礎医学Ⅱ	6	〃	
	生化学1	2	〃	
	生化学2	2	〃	
	免疫学	2	〃	
	医用機器学	1	〃	
	形態学実習Ⅰ	1.5	実習	
	形態学実習Ⅱ	3	〃	
	生化学実習	1	〃	
	免疫学実習	1	〃	
	腫瘍学1	1	講義	
	病理学	3	〃	
	微生物学	2	〃	
	寄生虫学	1	〃	
	薬理学	2	〃	
	基礎医学特論	1	〃	
	衛生・公衆衛生	2	〃	
	法医学	1	〃	
	生理学実習・演習	2	実習	
	薬理学実習	1	〃	
微生物学実習	0.5	〃		
寄生虫学実習	0.5	〃		
病理学実習	1	〃		
衛生・公衆衛生実習	0.7	〃		
法医学実習・演習	0.3	〃		
	小計 (必修)	41.5		
臨床医 学科目	心肺病態制御医学	5	講義	必修
	生体調節医学	4	〃	
	生体防御医学	3	〃	
	消化器医学	4	〃	
	精神・神経病態医学	5	〃	
	感覚器病態医学	6	〃	
	生殖発達医学	5	〃	
	腫瘍学2	1	〃	
	整形外科学	2	〃	
	麻酔科学	1	〃	
	救急医学	1	〃	
	症候別・課題別講義	3	〃	
	臨床放射線学	1	〃	
	臨床検査学	1	〃	
	臨床薬剤・薬理・治療学	2	〃	

	臨床疫学	1	〃	
	健康弱者のための医学	2	〃	
	臨床実習序論	4	演習	
	臨床実習Ⅰ	26	実習	
	臨床実習Ⅱ	39	〃	
	統合演習	2	演習	
	小計 (必修)	118		
合計	(必修)	210		
	(選択)	38		

【卒業要件単位数】

必修科目210単位及び選択科目8単位以上、合計218単位以上を取得すること。

別表2 (第10条第4項関係) (略)

医学部の収容定員変更の趣旨を記載した書類

1. 収容定員変更の内容

旭川医科大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「緊急医師確保対策」に基づき平成 29 年度までの期限を付した 7 名の臨時定員増を、また、平成 21 年度に「経済財政改革基本方針 2008」に基づき 5 名の恒久定員増を、また、平成 22 年度に「経済財政改革基本方針 2009」に基づき平成 31 年度までの期限を付した 10 名の臨時定員増をそれぞれ実施した。

平成 29 年度を期限とする 7 名の入学定員のうち 2 名について、平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、平成 30 年度の入学定員を再度の定員増を行わなかった場合の 105 名から 107 名に変更する。

これにあわせて、収容定員についても平成 31 年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の 640 名から 644 名に変更する。

2. 収容定員変更の必要性

平成 22 年 6 月 18 日に閣議決定された「新成長戦略」等を踏まえ、地域の医師確保等に早急に対応するため、平成 29 年度で終了する医学部入学定員の暫定措置（「新医師確保総合対策」及び「緊急医師確保対策」に基づき平成 20 年度又は平成 21 年度に開始された暫定的な定員増をいう。）については、当該臨時定員増を上限として再度の定員増が認められたところである。

北海道においては、多くの地域における医師不足と市部に医師が集中する地域偏在が深刻化していることや女性医師が年々増加し、男性医師に比べ、出産や育児を理由として、一時的に職を離れる場合も多いとされている。（資料 1）

また、本学における入学者及び卒業者の状況（資料 2）から、入学者における道内出身者の割合は過去 6 年間平均で 65.0%であり、卒業者における道内出身者の道内への定着率は、過去 6 年間平均で 84.4%となっている。

これらのことから、地元出身者及び地域医療を担う意思を有する者を重視した医師の養成・確保が重要な要素となっていることから、旭川医科大学としては、北海道内の医師不足を解消するために、引き続き、北海道、道内医療機関等と連携を図りつつ、北海道の地域医療を担う医師の養成・確保に向けた方策を講ずることとしている。

3. 収容定員変更に伴う教育課程等の変更内容

本学は、北海道の道北・道東地域における医療過疎の解消と高度先端医療の提供を期待され、昭和48年に設置された医学系単科大学であり、基本理念は、医療の質の向上と地域医療への貢献を推進するために高い生命倫理観を有し、高度な実践能力を有する医療職者を育成すると同時に、生命科学に関する先端的な研究を推進し、高度な研究能力を持つ研究者を育成することである。

これを踏まえ、本学では、地域医療に根差した医療・福祉に貢献する医師等の養成を積極的に推進してきた。平成20～22年度には、文部科学省による「質の高い大学教育推進プログラム」に「高大病連携によるふるさと医療人育成の取組」が選定され、「地域社会が地域の医師を育む」という視点のもと、地域の高等学校と医療機関における活動を積極的に支援し、入学者選抜から学部教育、卒後臨床研修までを一貫して、将来、地域医療に従事する医療職者、すなわち「ふるさと医療人」を育もうという全学を挙げた取組を行ってきた。

この取組と連携し、以下のとおり入試制度及びカリキュラムの見直しを実施している。

(1) 入試制度における取組

- 1) 平成20年度入試から、北海道の医師が不足している道北・道東等の出身者で、卒業後に当該地域における医療に貢献する強い意思のある者を対象とした「地域枠推薦入学」10人を導入した。
- 2) 平成20年度2年次後期編入学試験から、北海道に所在する高等学校又は大学の卒業生で、将来、北海道の地域医療に貢献する強い意思のある者を対象とした「編入学地域枠」5人を導入した。
- 3) 平成21年度からは従来のA0入試を廃止、北海道の地域医療に貢献する強い意思を持ち、より本学のアドミッションポリシーに沿った意欲、将来性、適性及び目的意識を持った北海道に所在する高等学校出身者を対象とした「A0入試北海道地域枠」35人を導入した。
- 4) 平成22年度に地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成の推進5名の恒久定員増を「A0入試北海道地域枠」に割当て40人とした。
- 5) 平成30年度から、新たにA0国際医療人特別選抜を新設し、「A0入試北海道地域枠」を35人に減員した。これに伴い、今回の再度の定員増2人は「A0入試北海道地域枠」に加えて37名とすることとした。

○平成 29 年度募集人員、平成 30 年度募集人員（案）

（単位：人）

年度	前期	後期	A0 北海道地域	A0 国際医療人	地域枠推薦	小計	編入学	合計
29 年度	40	22	40	—	10	112	10	122
(地域枠)			40		10	50	5	55
30 年度	40	15	37(+2)	5	10	107	10	117
(地域枠)			37(+2)		10	47	5	52

なお、平成 30 年度からは、募集人員 117 人に対し、地域枠の学生が 52 人（44.4%、前年度比▲0.7 ポイント）となる。

（2）地域医療を担う医師養成を目指したカリキュラムの導入

今回の定員増は、平成 29 年度で終了する臨時定員増を上限とした再度の定員増であるため、収容定員の変更に伴う教育課程の変更はないが、本学医学部医学科では、平成 27 年度から医学部医学科カリキュラムポリシーを改め（資料 3）、WFME（世界医学教育連盟）の基準に基づく「医学科 2015 カリキュラム」を導入した。

（1）入試制度における取組と連動した「医学科 2009 カリキュラム」では、「早期体験実習Ⅰ」を看護学科との連携実習に改変、2 次医療圏の問題を抽出する「早期体験実習Ⅱ」の導入、「地域医療学」、「臨床疫学」及び「健康弱者のための医学」など地域医療関連科目を開講し、臨床実習においては、2 週間の地域医療実習を必修化した。

また、「医学科 2015 カリキュラム」では、2 年次に医療社会学を新規開講している。（資料 4）

平成 30 年度には「医学科 2015 カリキュラム」の年次進行により、physician scientist 養成のために研究室配属が 4 年次に必修化され、平成 31 年度からは、臨床実習 66 週のうち 33 週を地域医療機関も多く参加する診療参加型実習に改変する予定である。

なお、医学科学生の「診療参加型臨床実習」は、大学病院のみならず、関連教育病院（北海道、旭川市、市立旭川病院、独立行政法人国立病院機構道北病院、旭川赤十字病院、J A 北海道厚生連旭川厚生病院及び旭川圭泉会病院）をはじめとする地域の病院等で展開し、「僻地医療実習」は僻地医療の現場に赴いて滞在型実習として実施している。また、早期体験実習Ⅰ及び早期体験実習Ⅱにおいても道内の医療機関との連携を図っている。（資料 5）

4. その他、地域医療に関する取組

(1) 医師の派遣・紹介の取組

医療機関から医師派遣の依頼があった場合、大学における医師派遣の窓口を一本化し、手続きの明確化と本学から派遣する医師の状況を把握するため、平成16年4月1日から「医師派遣室」を設置した。医師派遣件数は、平成26年度は21人、平成27年度は6人、平成28年度は24人、今年度は9月1日現在で1人となっている。なお、主な派遣先は、留萌市立病院、市立根室病院、士幌町国民健康保険病院、枝幸町国民健康保健病院など、二次医療圏の地方病院が中心となっている。

(2) 北海道における「地域医療支援派遣医師確保事業」との連携

北海道では、平成20年度から医師免許取得後5年以上経過している医師を対象に、地域勤務（1年）と大学病院等での研修（1年）の2年を1単位として、北海道の職員として採用する「地域医療支援派遣医師確保事業」を行っており、本事業を活用して北海道内の医療機関に従事する医師確保に努めている。平成20年度は、本院から地域の医療機関に4人の医師を派遣し、本院において研修した医師が4人いる。平成21年度からは、北海道と委託契約を締結し、北海道からの委託料により、本院で研修する医師を診療助教として採用する制度に変更され、5人の枠が設けられ、現在も5人の医師を診療助教として採用している。

(3) 地域医療従事者の知識及び技能等の向上への貢献

臨床シミュレーションセンターを本学学生や教職員だけではなく、地域医療従事者の医療技術の習得や技能等の向上のために開放している。ニュースレターやウェブサイトによる情報提供を行った結果、地域医療従事者の延べ利用人数及び貸出延べ利用人数の合計は平成24年度までに200人であったところ、平成25年度には323人、平成27年度には1,488人に増加している。

(4) 卒後臨床研修（初期）における取組

本院の臨床研修プログラムは、①大学病院と地域の臨床研修病院とを原則1年単位に相互に研修する「たすきがけコース」、②大学病院を中心に2年間の臨床研修を行う「大学病院コース」、③研修医の研修希望診療科の選択の幅を広げ、個々のニーズにあった研修内容の提供が可能な「自由選択コース」を設けている。

平成29年4月時点で、本学と共同して臨床研修を行う「協力型臨床研修病院」として65の病院、「臨床研修協力施設」として66の病院等と連携を図っ

ている。(資料6)

また、平成20年度に地域枠推薦入学制度を導入したことにより、臨床研修医の採用者数は平成26年度から上昇傾向にある。

○臨床研修医の採用状況

(単位：人)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
1年目採用者	12	14	29	32	45	36
うち本学出身者	10	12	28	31	43	36

(5) 新専門医における取組

平成27年9月に新専門医制度対策ワーキングチームを立ち上げ、平成28年度には、形成外科を除く18基本領域のプログラムの申請が完了した。平成28年11月には、新たに教育センターに採用した教授を学長補佐(医学教育分野別認証及び新専門医制度)に任命して新専門医制度の実施に向けた準備を進めている。

また、北海道との連携により、北海道医師養成確保修学資金の貸与を受けた卒業生が専門医を取得する場合に各科で遅れが生じないか領域毎の研修モデルケースアンケート調査を行っている。

(6) 北海道の奨学金

北海道では、地域医療を担う医師を養成し、医師が不足する地域における医療の確保を図ることを目的として、以下のとおり奨学金制度を創設しており、今回の再度の定員増についても、この奨学金の対象としている。(資料7)

1) 設定主体	北海道
2) 支給額	入学料： 282,000円(初年度) 授業料： 535,800円(年額) 生活費： 120,000円(月額) 総額：12,136,800円(6年間計)
3) 返還免除の条件	卒後9年間のうち、5年間を知事が指定する医師確保が困難な道内の公的医療機関等(指定公的医療機関等)に勤務すること。 ※ その他4年間は、道内の臨床研修病院等で研修
4) 支給対象	貸付の希望があった学生
5) 在学中の学生に対する都道府県の相談・指導	

在学中の学生に対して随時相談を受け付けるとともに、全学年を対象に地域医療講演会を開催し、地域医療マインドの醸成を図るほか、6年生を対象とし、道の担当者が個人面談により、今後のキャリア形成に係る希望や、地域勤務の意向を確認するなどの相談に応じている。

6) 卒後のキャリア形成

道の「北海道医療対策協議会」において、地域医療への貢献と医師としてのキャリア形成を両立できるよう、各領域ごとの標準的な専門医研修期間内での「基本領域診療領域の専門医研修」の終了について配慮した「地域枠医師の配置等の考え方」を定めて運用している。

上記制度について、本学では、次のとおり、奨学金制度の趣旨を学生募集要項に掲載することにより、貸与を受けることを希望する者を募ることとしている。

①AO入試北海道地域枠及び地域枠推薦入試

全合格者の中から貸与を受けることを希望する者を募ることとする。

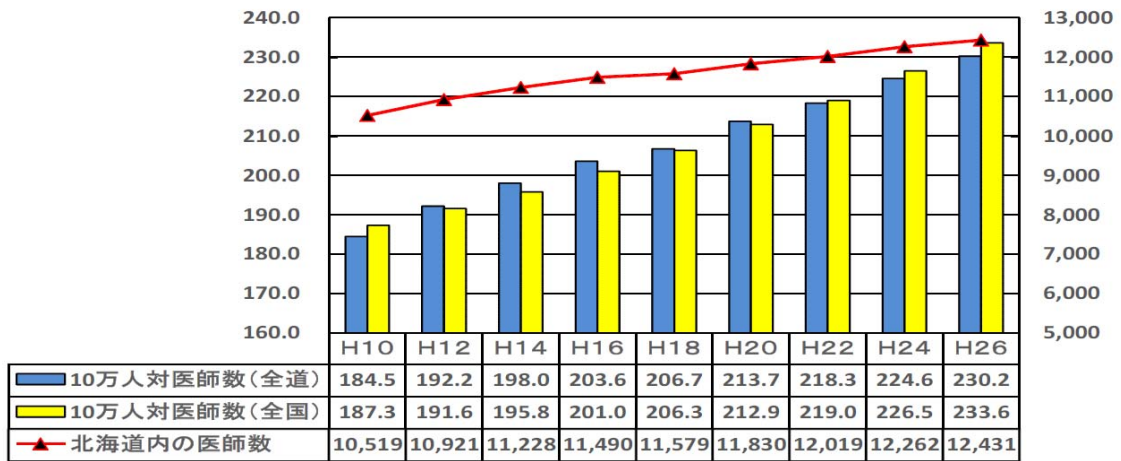
②一般入試

出願時に奨学金の貸与を受けることの希望の有無を確認し、希望者からは受給意思確認書を提出させ（学生募集要項には、奨学金貸与を受けることの希望の有無は合否に一切影響しない旨を付記する。）、入学者選抜後、受給意思確認書を提出した入学者の中から、北海道に対して受給適格者を推薦することとする。

北海道における医師の状況等

① 医療施設に従事する医師数の推移（平成10年～平成26年）

- 道内の人口10万人当たり医療施設従事医師数は、平成12年の調査で初めて全国平均を上回ったが、平成22年から再び全国平均を下回っている。
- 平成26年12月末の10万人当たり医療施設従事医師数全道230.2人：全国233.6人

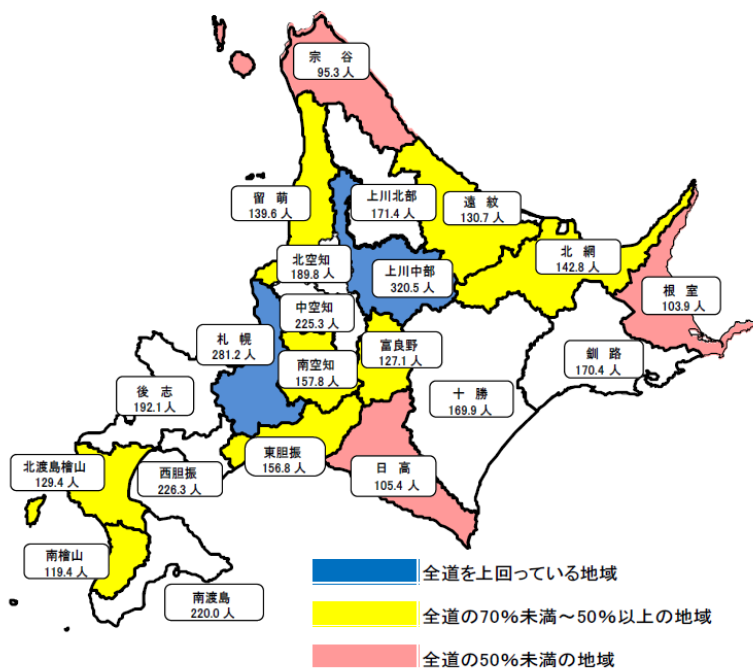


② 2次医療圏医師数（平成26年末）

- 札幌圏に全道の医師の約半分が集中しており、地域偏在が著しい。（単位：人）

区分	全国	北海道				
		全道	市部	町村部	最大圏域	最小圏域
医療施設従事医師数	296,845	12,431 (100.0%)	11,549 (92.9%)	882 (7.1%)	札幌圏 6,626 (53.3%)	南檜山圏 29 (0.2%)
人口10万対医師数	233.6	230.2 (100.0%)	263.5 (114.5%)	88.4 (38.4%)	上川中部圏 320.5 (139.2%)	宗谷圏 95.3 (41.4%)

圏域名	人口10万対医師数	全道との比較
1 上川中部	320.5	139.2%
2 札幌	281.2	122.2%
3 西胆振	226.3	98.3%
4 中空知	225.3	97.9%
5 南渡島	220.0	95.6%
6 後志	192.1	83.4%
7 北空知	189.8	82.5%
8 上川北部	171.4	74.5%
9 釧路	170.4	74.0%
10 十勝	169.9	73.8%
11 南空知	157.8	68.5%
12 東胆振	156.8	68.1%
13 北網	142.8	62.0%
14 留萌	139.6	60.6%
15 遠紋	130.7	56.8%
16 北渡島檜山	129.4	56.2%
17 富良野	127.1	55.2%
18 南檜山	119.4	51.9%
19 日高	105.4	45.8%
20 根室	103.9	45.1%
21 宗谷	95.3	41.4%
全道	230.2	100.0%
全国	233.6	101.5%



北海道における医師の状況等

③ 診療科別医師数

- 平成16年と平成26年を比較すると、内科系医師(全体)は増加傾向にある。(4,683→4,774,+91)。外科系(全体)はほぼ同数(2,556→2,568,+2)であるが、一般外科の減少率(▲33%)が大きい。
- 整形外科、精神科、麻酔科は増加、小児科、産婦人科(産婦人科+産科+婦人科)は微増している。小児科及び産婦人科医師の減少が全国的な問題となっているが、北海道においても同様な状況にあり、これらの分野における医師不足は厳しい状況にある。

年	(単位:人)																													
	総数	内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	泌尿器科	皮膚科	眼耳鼻咽喉科	麻酔科	救急科	その他診療科⑤	研修医	その他診療科⑥	臨床医床	その他診療科⑦	その他診療科⑧	その他診療科⑨	その他診療科⑩	その他診療科⑪	その他診療科⑫	その他診療科⑬	その他診療科⑭	その他診療科⑮	その他診療科⑯	その他診療科⑰	その他診療科⑱	その他診療科⑲		
H10	10,519	3,126	2,556	603	428	28	293	273	412	357	356	368	380	482	700	642	602	558	536	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	
H12	10,921	3,291	2,556	590	438	28	316	287	430	367	366	380	482	700	642	602	558	536	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	
H14	11,228	3,291	2,556	608	430	34	321	307	465	372	391	482	482	700	642	602	558	536	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	
H16	11,490	3,219	2,556	598	395	48	330	306	467	357	421	700	642	642	642	642	642	642	642	642	642	642	642	642	642	642	642	642	642	
H18	11,579	3,008	2,556	604	359	60	320	296	441	359	400	63	468	700	642	602	558	536	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	
H20	11,830	2,788	2,568	617	364	68	331	311	459	374	428	77	453	602	602	602	602	602	602	602	602	602	602	602	602	602	602	602	602	
H22	12,019	2,779	2,568	618	379	76	338	316	478	358	459	71	554	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	558	
H24	12,262	2,682	2,568	634	390	87	340	330	478	359	471	83	587	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	
H26	12,431	2,700	2,568	642	381	82	321	338	469	362	509	85	641	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	556	
26-16	941	▲519	▲125	▲110	▲83	▲135	▲47	▲52	▲16	▲42	▲342	▲130	▲2	▲19	▲26	▲33	▲70	▲68	▲44	▲14	▲34	▲84	▲9	▲32	▲2	▲5	▲88	▲85	▲59	▲56

注)平成20年以降の調査【医師・歯科医師・薬剤師調査】では、標ぼう診療科の改正(細分化)が行われたため、それ以前との単純な比較はできない。

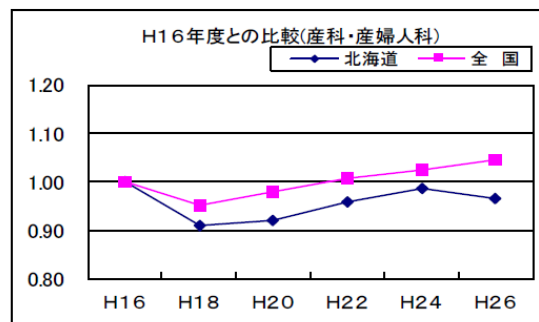
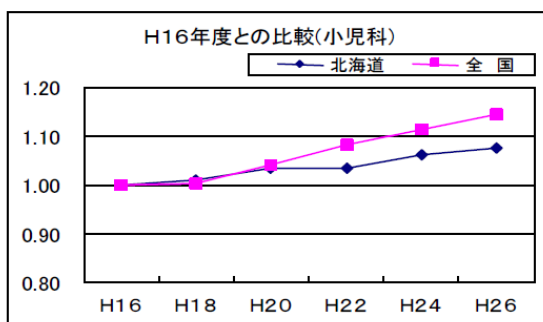
- ①その他内科系(心療内科、アレルギー科、リウマチ科)
- ②その他内科系(心療内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科)
- ③その他外科系(美容外科、小児外科、肛門科、気管食道科)
- ④その他外科系(美容外科、小児外科、肛門科、気管食道科、乳腺外科)
- ⑤その他診療科(リハビリテーション科(理学療法科)、放射線科、病理(H18)、性病科、全科、その他、不詳)
- ⑥その他診療科(リハビリテーション科、放射線科、病理診断科(H20～)、臨床検査科、全科、その他、不詳)

□小児科

区分	従事医師数(人)		H16年度との比較	
	北海道	全国	北海道	全国
H10	603	13,989	—	—
H12	590	14,156	—	—
H14	608	14,481	—	—
H16	598	14,677	1.00	1.00
H18	604	14,700	1.01	1.00
H20	617	15,236	1.03	1.04
H22	618	15,870	1.03	1.08
H24	634	16,340	1.06	1.11
H26	642	16,758	1.07	1.14

□産科(産科・産婦人科)

区分	従事医師数(人)		H16年度との比較	
	北海道	全国	北海道	全国
H10	428	11,269	—	—
H12	438	11,059	—	—
H14	430	11,034	—	—
H16	395	10,594	1.00	1.00
H18	359	10,074	0.91	0.95
H20	364	10,389	0.92	0.98
H22	379	10,652	0.96	1.01
H24	390	10,868	0.99	1.03
H26	381	11,085	0.96	1.05



北海道における医師の状況等

④ 女性医師の状況（平成 26 年末）

- 道内の女性医師は年々増加し、平成 26 年には 14.5%に達している。
- 医師国家試験合格者（全国ベース）に占める女性の割合は、平成 27 年は 31.5%。
- 一方、男性医師に比べ、出産や育児を理由に、一時的に職を離れる場合も多い。

□医療施設従事医師数の推移

全 国	236,933	243,201	249,574	256,668	263,540	271,897	280,431	288,850	296,845
男	203,910	208,353	210,764	214,628	218,318	222,784	227,429	232,161	236,350
女	33,023	34,848	38,810	42,040	45,222	49,113	53,002	56,689	60,495
女性比	13.9%	14.3%	15.6%	16.4%	17.2%	18.1%	18.9%	19.6%	20.4%
全 道	10,519	10,921	11,228	11,490	11,579	11,830	12,019	12,262	12,431
男	9,440	9,775	9,948	10,113	10,138	10,297	10,386	10,542	10,628
女	1,079	1,146	1,280	1,377	1,441	1,533	1,633	1,720	1,803
女性比	10.3%	10.5%	11.4%	12.0%	12.4%	13.0%	13.6%	14.0%	14.5%

女性医師の割合の推移（全国と全道）



【出典：「北海道の医師確保対策について（H28.1）」北海道地域医師連携支援センター】

入学者及び卒業者の状況(医学科)

入学者状況 (単位:人・%)

入学年度	入学者の内訳		
	道内	道外	計
平成23年度	93	19	112
平成24年度	72	40	112
平成25年度	69	43	112
平成26年度	71	41	112
平成27年度	67	45	112
平成28年度	65	47	112
計	437	235	672
比率	65.0	35.0	100.0

卒業生状況(卒業者の出身地, 就職先就職状況)

(単位:人・%)

区 分	卒業生数		就職者等						
	道内外別	率	道内就職者	率	道外就職者	率	その他	率	
平成23年度	道内出身者	35	100.0	27	77.1	5	14.3	3	8.6
	道外出身者	57	100.0	17	29.8	33	57.9	7	12.3
平成24年度	道内出身者	30	100.0	23	76.7	5	16.7	2	6.7
	道外出身者	64	100.0	18	28.1	43	67.2	3	4.7
平成25年度	道内出身者	46	100.0	34	73.9	6	13.0	6	13.0
	道外出身者	52	100.0	20	38.5	24	46.2	8	15.4
平成26年度	道内出身者	65	100.0	55	84.6	7	10.8	3	4.6
	道外出身者	34	100.0	15	44.1	17	50.0	2	5.9
平成27年度	道内出身者	94	100.0	87	92.6	2	2.1	5	5.3
	道外出身者	34	100.0	14	41.2	14	41.2	6	17.6
平成28年度	道内出身者	95	100.0	82	86.3	6	6.3	7	7.4
	道外出身者	31	100.0	8	25.8	20	64.5	3	9.7
合計	道内出身者	365	100.0	308	84.4	31	8.5	26	7.1
	道外出身者	272	100.0	92	33.8	151	55.5	29	10.7

旭川医科大学医学部医学科（学士課程） カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

医学科では、医療分野における多様な価値観等に触れるための基礎教育科目、医師のプロフェッショナリズム涵養に結びつく横断的な内容を身につけるためのICM(Introduction to Clinical Medicine)科目、より専門的な内容を学び、実践的な力を身につけるための基礎医学科目、臨床医学科目による教育課程を整備し、これらの体系的な履修を促します。また、日進月歩である医学の発展に教育課程として柔軟に対応するために「選択・必修コースⅠ～Ⅲ」をICM科目の中に配置し、基礎医学・臨床医学の発展に即した教育課程となるよう努めています。

医学科では、医学科の学位授与の方針を実現するために、上記の方針を以下のとおり具体化して、カリキュラムを編成しています。

① 「倫理観とプロフェッショナリズム」（態度）

生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。

1. 医学者としての倫理原則や臨床医として患者さんに対応するための行動科学を理解するために、ICM科目に「医療概論Ⅰ～Ⅳ」を配置し、1年次から系統的に履修できるように展開しています。

② 「医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）

幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。

2. 文化、社会、自然等に関する幅広い知識を身につけ、多様な価値観等に触れるために、教養科目を基礎教育科目と位置づけ履修を個人の希望に合わせた選択としています。
3. 医師のプロフェッショナリズム涵養に結びつく横断的な内容を身につけるためのICM科目を設定し履修を必修としています。
4. 専門分野の学問の内容と方法を説明でき、自学自習の態度を涵養し、確実に知識を獲得するために、講義・実習科目としての基礎教育科目、基礎医学科目、臨床医学科目のみでなく、ICM科目として「医学チュートリアルⅠ～Ⅴ」を演習科目として配置し、1年次から系統的に履修できるように展開しています。

③「全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力」(技能)

豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。

患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診療能力を身につけている。

急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。

5. 心理学的背景を理解した上で、医療コミュニケーションを円滑に行うために、基礎教育科目に「心理・コミュニケーション実習」を1年次に配置しています。
6. 主要徴候に基づく健康問題の診断と治療の原則を理解するために、臨床医学科目の「症候別・課題別講義」とICM科目の「医学チュートリアルⅢ～Ⅳ」を連動させ配置し、4年次に展開しています。
7. 臨床実習に必要な基本的診療能力と臨床推論能力を身に付けるために、臨床医学科目の「臨床実習序論」とICM科目のTBL型演習である「医学チュートリアルⅤ」を連動させ配置し、4年次に展開しています。
8. 臨床実習は、4年次～5年次に配置するベッドサイドラーニングで全ての臨床科目をローテートし、引き続き配置する実習ではクリニカルクラークシップ(診療参加型実習)を採用し3週間を一単位として基本診療科を中心に5年次～6年次に必修で展開しています。

④「問題解決能力、発展的診療能力、研究心」(思考・判断)

基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、客観的思考を持って診療に応用することができる。

また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的な研究計画を立案できる。

9. 自らの思考・判断のプロセスや結果を、論述等で論理的に的確に説明できるように、基礎教育科目に「基礎生物学実習」、「医用物理学実習」、「基礎化学実習」、基礎医学科目には「生化学実習」、「形態学実習Ⅰ、Ⅱ」、「免疫学実習」、「生理学実習・演習」、「薬理学実習」、「微生物学実習」、「寄生虫学実習」、「衛生・公衆衛生学実習」、「法医学実習・演習」等の実習科目を配置し、1年次から系統的に履修できるように展開しています。
10. 臨床情報に基づく研究を行うために臨床医学科目に「臨床疫学」を配置し、獲得した様々な知識を用いて現実の問題解決に取り組む活動を行なう医学研究者としての素養を養うため、4年次に研究室に所属する必修科目としてICM科目に「医学研究特論」を配置しています。

⑤「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」（意欲・関心）

医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。

11. 地域医療の問題点を知るための「地域医療学」、旭川近郊および北海道での医療ニーズの探索ための「早期体験実習Ⅰ、Ⅱ」、医療に関わる社会的問題を知り解決するための「医療社会学」、「医療社会学実習」をICM科目に配置しています。また地域における病める者の医療ニーズを知るために臨床医学科目に「健康弱者のための医学」を配置し、1年次から系統的に履修できるように展開しています。
12. 医学研究を通じて国際社会に貢献する方法を知るために「医学研究特論」を4年次に配置しています。

医学科2015カリキュラム カリキュラムマップ

領域	態度	知識	技能	思考・判断	意欲・関心		
キーワード	倫理観とプロフェッショナリズム	医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力	全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力	問題解決能力、発展的診療能力、研究心	地域社会・国際社会へ貢献するための能力		
ディプロマ・ポリシー	生命の尊厳尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性和その方法を説明できる。	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。 患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診療能力を身につけている。 急性もしくは慢性的健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、客観的的思考を持って診療に応用することができる。 また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。		
6年	統合演習試験 卒業時(Ad)OSCE	統合演習					
		臨床実習Ⅱ					
5年		臨床実習Ⅰ					
4年	OSCE/CBT		臨床薬剤・薬理・治療学	衛生・公衆衛生	臨床実習序論		
			臨床検査学	法医学		健康弱者のための医学	医学研究特論
			臨床放射線学			症候別・課題別講義	臨床疫学
		医療概論Ⅳ	麻酔科学				衛生・公衆衛生学実習
		医療安全	救急医学				法医学実習・演習
	医療情報学	整形外科学	腫瘍学2				
3年		選択必修コースⅠ～Ⅲ					
		生殖発達医学			病理学実習		
		感覚器病態医学			寄生虫学実習		
		精神・神経病態医学			薬理学実習		
		消化器医学			微生物学実習		
	医療概論Ⅲ	生体防御医学			生理学実習・演習		
		生体調節医学					
		心肺病態制御医学					
		腫瘍学1					
2年		病理学			基礎医学特論		
		機能形態基礎医学Ⅰ・Ⅱ			形態学実習Ⅰ・Ⅱ	医療社会学実習	
		寄生虫学				医療社会学	
		薬理学					
		医療概論Ⅱ	微生物学				
		医用機器学				早期体験実習Ⅱ	
		免疫学					
		生化学1・2					
1年		基礎教育科目 (教養科目)					
	医療概論Ⅰ					地域医療学 早期体験実習Ⅰ	

基礎教育科目
ICM科目
基礎医学科目
臨床医学科目

地域医療実習

No	施設名
1	深川市立病院
2	JA北海道厚生連 遠軽厚生病院
3	名寄市立総合病院
4	社会福祉法人北海道社会事業協会 富良野病院
5	足寄町国民健康保険病院
6	斜里町国民健康保険病院
7	町立厚岸病院
8	清水赤十字病院
9	公立芽室病院

診療参加型臨床実習

No	施設名
1	市立旭川病院
2	旭川赤十字病院
3	旭川厚生病院
4	旭川医療センター
5	社会福祉法人 北海道社会事業協会 富良野病院
6	北彩都病院
7	ながやまキッズファミリークリニック
8	とびせ小児科内科医院
9	ながのこどもクリニック
10	土田こどもクリニック
11	丘のうえこどもクリニック
12	いんやく小児科クリニック
13	杉本こども・内科クリニック
14	リバータウンクリニック
15	今本内科医院
16	旭川神経内科クリニック
17	サンビレッジクリニック
18	錦町おおしま耳鼻咽喉科
19	なかむら耳鼻咽喉科医院
20	中根耳鼻咽喉科医院
21	いまだ耳鼻咽喉科
22	ながやま一番通りクリニック
23	大橋耳鼻咽喉科医院
24	のなか気管食道耳鼻咽喉科
25	くまいクリニック
26	森山メモリアル病院
27	旭川肢体不自由児総合療育センター
28	名寄市立総合病院
29	旭川圭泉会病
30	北海道療育園
31	札幌厚生病院
32	医療法人健康会くにもと病院
33	整形外科 進藤病院
34	医療法人 欽生会豊岡中央病院
35	公立芽室病院
36	社会医療法人北斗 北斗病院
37	札幌東徳洲会病院
38	産科婦人科
39	市立稚内病院
40	医療法人社団慶愛慶愛病院
41	医療法人社団公和会 中村記念 愛成病院
42	市立函館病院
43	旭川ベインクリニック病院
44	札幌補心会病院
45	旭川市消防本部
46	とくひろ整形外科クリニック
47	北海道医療センター

早期体験実習 I

No	施設名
1	医療法人社団旭豊会 旭川三愛病院
2	医療法人社団進和会 旭川リハビリテーション病院
3	美瑛町立病院
4	深川市立病院
5	医療法人元生会 森山病院
6	医療法人社団慶友会 吉田病院
7	医療法人社団 旭川圭泉会病院
8	医療法人 恵心会 北星ファミリークリニック
9	訪問看護ステーション めぐみ
10	医療法人社団恩和会 旭川高砂台病院
11	医療法人 アンリー・デュナン会 老人保健施設 エーデルワイス
12	介護老人保健施設 回生苑
13	医療法人社団旭豊会 介護老人保健施設 旭泉苑
14	介護老人保健施設 ことぶき
15	医療法人健康会 くにもと病院
16	医療法人社団慶友会 老人保健施設 さくら館
17	社会福祉法人旭川福祉事業会 老人保健施設 ひだまりの里
18	医療法人恵心会 旭川老人保健施設 ふれあい
19	社会福祉法人旭川小泉福祉会 特別養護老人ホーム 旭川のなか園
20	社会福祉法人大悲会 特別養護老人ホーム あそか苑
21	社会福祉法人 欽生会 特別養護老人ホーム 敬生園
22	特別養護老人ホーム 東川町羽衣園
23	社会福祉法人美瑛慈光会 特別養護老人ホーム 美瑛慈光園
24	特別養護老人ホーム 緑が丘あさひ園
25	上富良野町ラベンダーハイム
26	中富良野町特別養護老人ホームこぶし苑
27	社会福祉法人 欽生会 障害者支援施設 敬愛園
28	重症心身障害児(者)施設 北海道療育園
29	医療法人社団 はらだ病院
30	北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター

早期体験実習 II

No	施設名
1	森町国民健康保険病院
2	森町役場保健福祉課
3	渡島総合振興局保健環境部保健行政室(渡島保健所)
4	市立函館病院
5	函館市消防本部
6	札幌市保健福祉局保健所
7	市立札幌病院
8	札幌市医師会事務局
9	札幌市消防局
10	札幌東徳洲会病院
11	医療法人 北海道家庭医療学センター 栄町ファミリークリニック
12	小樽協会病院
13	倶知安厚生病院
14	おたるレディースクリニック
15	倶知安消防署
16	小樽市立病院
17	小樽消防本部
18	夕張市消防本部
19	夕張市立診療所
20	空知総合振興局保健環境部保健行政室(岩見沢保健所)
21	岩見沢市立総合病院
22	市立芦別病院
23	砂川市役所介護福祉課
24	砂川市立病院
25	市立赤平総合病院
26	赤平市役所
27	深川市立病院
28	町立沼田厚生クリニック
29	空知総合振興局保健環境部深川地域保健室(深川保健所)
30	深川市消防本部
31	津田こどもクリニック
32	JCHO 登別病院
33	胆振総合振興局保健環境部保健行政室(室蘭保健所)
34	市立室蘭総合病院
35	製鉄記念室蘭病院
36	胆振総合振興局保健環境部苫小牧地域保健室(苫小牧保健所)
37	医療法人社団 健康会 あつまクリニック
38	医療法人王子総合病院
39	今本内科医院
40	リバータウンクリニック
41	道北勤医協一条通病院
42	旭川市福祉保健部介護高齢課
43	旭川厚生病院
44	旭川神経内科クリニック
45	名寄市役所健康福祉部保健センター(名寄市長宛て)
46	名寄市立総合病院
47	市立別立病院
48	富良野市役所
49	内海内科クリニック
50	上川総合振興局保健環境部富良野地域保健室(富良野保健所)
51	社会福祉法人 北海道社会事業協会富良野病院
52	留萌市立病院
53	留萌振興局保健環境部保健行政室(留萌保健所)
54	北海道立羽幌病院
55	北海道立焼尻診療所
56	羽幌地域訪問看護ステーション
57	一般社団法人 北海道総合在宅ケア事業団
58	利尻島国民健康保険中央病院
59	利尻町役場
60	市立稚内病院
61	宗谷総合振興局保健環境部保健行政室(稚内保健所)
62	幌延町立診療所
63	オホーツク総合振興局保健環境部保健行政室(網走保健所)
64	社会医療法人明生会網走脳神経外科・リハビリテーション病院
65	網走厚生病院
66	オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室(北見保健所)
67	北見赤十字病院
68	道立北見病院
69	JA北海道厚生連遠軽厚生病院
70	広域紋別病院
71	オホーツク総合振興局保健環境部紋別地域保健室(紋別保健所)
72	足寄町役場
73	更別村国民健康保険診療所
74	帯広第一病院
75	帯広協栄病院
76	釧路総合振興局保健環境部保健行政室(釧路保健所)
77	釧路市役所
78	市立釧路総合病院
79	総合病院 釧路赤十字病院
80	市立根室病院

社会医学系実習

No	施設名
1	株式会社 エフ・イー
2	株式会社 福居製菓所
3	株式会社 壺屋総本店
4	株式会社 表鉄工所
5	上川総合振興局保健環境部保健行政室
6	旭川市保健所
7	医療法人 耕仁会 札幌太田病院
8	北海道対がん協会 旭川がん検診センター
9	医療法人社団 旭川圭泉会病院
10	障害支援センター あしすと
11	多機能型事務所 ファブリカ
12	旭川市役所 子育て相談課
13	旭川子ども発達支援センター たいよう
14	JR苗穂工場
15	株式会社 表鉄工所

卒後臨床研修に係る「協力型臨床研修病院」及び「臨床研修協力施設」

協力型臨床研修病院

No	施設名	No	施設名
1	医療法人社団旭川圭泉会病院	34	北斗病院
2	JA北海道厚生連旭川厚生病院	35	北海道病院
3	旭川赤十字病院	36	留萌市立病院
4	岩見沢市立総合病院	37	国立病院機構北海道医療センター
5	JA北海道厚生連遠軽厚生病院	38	琉球大学付属病院 ※
6	北見赤十字病院	39	イムス札幌消化器病総合病院
7	独立行政法人労働者健康福祉機構釧路労災病院	40	帯広徳洲会病院
8	独立行政法人国立病院機構道北病院	41	札幌太田病院
9	医療法人徳洲会札幌徳洲会病院	42	市立函館病院
10	市立旭川病院	43	大雪病院
11	市立釧路総合病院	44	網走脳神経外科リハビリテーション病院
12	砂川市立病院	45	道東脳神経外科病院
13	滝川市立病院	46	斗南病院 ☆
14	名寄市立総合病院	47	東京都立墨東病院
15	北海道社会事業協会富良野病院	48	武蔵野赤十字病院
16	医療法人社団慶友会吉田病院	49	大浜第一病院
17	士別市立病院	50	JR札幌病院
18	深川市立病院	51	日鋼記念病院
19	小林病院	52	禎心会病院
20	くにもと病院	53	北海道脳神経外科記念病院
21	国立病院機構帯広病院	54	千歳市民病院
22	市立稚内病院	55	帯広第一病院
23	恵み野病院	56	新百合ヶ丘総合病院
24	札幌東徳洲会病院	57	豊岡中央病院
25	国立病院機構北海道がんセンター	58	製鉄記念室蘭病院
26	網走厚生病院	59	函館新都市病院
27	江別市立病院	60	大川原脳神経外科病院
28	釧路孝仁会病院	61	手稲溪仁会病院
29	函館五稜郭病院	62	札幌厚生病院
30	釧路赤十字病院	63	相川記念病院
31	王子総合病院	64	八雲総合病院
32	東旭川病院	65	済生会小樽病院
33	静仁会静内病院		

臨床研修協力施設(地域保健・医療)

No	施設名	No	施設名
1	北海道立羽幌病院	34	あかびら市立病院
2	上川医療センター	35	公立芽室病院
3	新ひだか町立静内病院	36	枝幸町国保民健康保険病院
4	美瑛町立病院	37	函館病院(函館協会病院)
5	興部町国民健康保険病院	38	旭川南病院
6	中頓別町国民健康保険病院	39	森山メモリアル病院
7	浜頓別国民健康保険病院	40	上富良野町立病院
8	本別町国民健康保険病院	41	北海道立北見病院
9	利尻島国保中央病院	42	苫小牧日翔病院
10	礼文町国民健康保険船泊診療所	43	沖縄県立宮古病院 ※
11	国民健康保険町立和寒病院	44	はらだ病院
12	置戸赤十字病院	45	大西病院
13	苫前厚生クリニック	46	西成病院
14	町立沼田厚生クリニック	47	洞爺温泉病院
15	美深厚生病院	48	サンビレッジクリニック
16	丸瀬布厚生病院	49	北星ファミリークリニック
17	国立病院機構八雲病院	50	足寄町国民健康保健病院
18	松前町立松前病院	51	北海道療育園
19	本輪西ファミリークリニック	52	奈井江町立国民健康保険病院
20	更別村国保診療所	53	幌加内町国民健康保険病院
21	寿都町立寿都診療所	54	博友会 北の峰病院
22	町立中標津病院	55	いんやく小児科クリニック
23	広域紋別病院	56	内海内科クリニック
24	市立芦別病院	57	ふらの西病院
25	市立根室病院	58	町立厚岸病院
26	小樽病院(小樽協会病院)	59	摩周厚生病院
27	旭川リハビリテーション病院	60	東町ファミリークリニック
28	整形外科進藤病院	61	町立別海病院
29	北海道循環器病院	62	北海道稚内保健所
30	森山病院	63	市立稚内こまどり病院
31	旭川赤十字血液センター	64	ななえ新病院
32	北彩都病院	65	日高町立門別国民健康保険病院
33	札幌山の上病院	66	余市協会病院

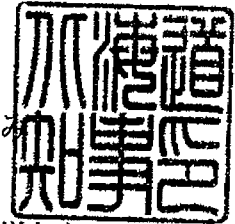


地医第461号

平成29年7月19日

厚生労働省医政局長 様

北海道知事 高橋 はるみ



地域の医師確保等の観点からの平成30年度医学部入学定員の増加に
ついて（回答）

平成29年7月10日付け医政発0710第1号で通知がありましたこのことについて、道では、平成20年度に「緊急医師確保対策」に基づいて実施した定員増について、平成30年度から再度の定員増を図ることとします。

この定員増については、引き続き、「北海道医師養成確保修学資金貸付事業」により修学資金の貸付金を行うこととし、「医療介護総合確保促進法に基づく平成30年度北海道計画」に位置づけることを確約します。

保健福祉部地域医療推進局地域医療課
担当：医師確保推進グループ 中村
電話：011-231-4111（内線25-413）
011-204-5214（直通）

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 〈就任（予定）年月〉	年齢	保有 学位等	月給基本給 （千円）	現 職 （就任年月）
—	学長	ヨシダ ヒロシ 吉田 晃敏 〈平成19年7月〉		博士 （医学）		旭川医科大学 学長 （平19. 7）

教 員 の 氏 名 等

(医学部 医学科)

番号	専任等区分	職 位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月 額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単位数	年 間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する週当 たり平均日数
1	専	教授	ヨシダ シゲタカ 吉田 成孝		博士(医学)		医学英語IVA	3 後	0.3	1	旭川医科大学医学部・ 教授 (平成13年4月)	5日
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							機能形態基礎医学 I	2 前	0.3	1		
							機能形態基礎医学 II	2 後	1.1	1		
							形態学実習 II	2 後	2.2	1		
							選択必修コース I・IV (ニューロサイエンス コース)	3・4 後	0.1	1		
							形態機能学	1 通	0.3	1		
生体観察実習	1 後	0.1	1									
臨床実習選択 II	6 前	4.0	1									
2	専	教授	ワタナベ ツヨシ 渡部 剛		博士(医学)		機能形態基礎医学 I	2 前	2.1	1	旭川医科大学医学部・ 教授 (平成12年10月)	5日
							形態学実習 I	2 前	0.5	1		
							基礎医学特論	2 後	0.1	1		
							形態学実習 II	2 後	0.3	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース I・IV(生 体構造機能蛋白・病態解 析コース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コース III・VI(糖 尿病:内分泌Up・Dateコ ース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コース【「免疫組 織化学の原理と実際」コ ース】	3 後	0.7	1		
臨床実習選択 II	6 前	1.3	1									
3	専	教授	カナイ アキラ 高井 章		博士(医学)		機能形態基礎医学 II	2 後	1.8	1	旭川医科大学医学部・ 教授 (平成13年10月)	5日
							生理学実習・演習	3 前	2.0	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース【生理学 講座(自律機能分野)】	3 後	0.5	1		
							基礎医学特論	2 後	0.1	1		
							形態機能学	1 通	0.5	1		
臨床実習選択 II	6 前	0.7	1									
4	専	教授	カシワナキ マコト 柏柳 誠		博士(薬学)		機能形態基礎医学 II	2 後	0.7	1	旭川医科大学医学部・ 教授 (平成15年12月)	5日
							基礎医学特論	2 後	0.1	1		
							生理学実習・演習	3 前	2.0	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース III・VI(感 覚器医学の最先端コ ース)	3・4 後	0.1	1		
選択必修コース【生理学 講座(神経機能分野)】	3 後	0.5	1									
5	専	教授	タニグチ タカフ 谷口 隆信		博士(医学)		生化学1	2 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・ 教授 (平成14年10月)	5日
							生化学2	2 前	0.9	1		
							生化学実習	2 前	1.0	1		
							薬理学	2 後	0.1	1		
							腫瘍学1	3 後	0.1	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース I・IV(生 体構造機能蛋白・病態解 析コース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コース III・VI(糖 尿病:内分泌Up・Dateコ ース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コース【生化学 講座(細胞制御科学分 野)】	3 後	0.5	1		
臨床実習選択 II	6 前	0.7	1									
							生化学実習	2 前	1.0	1		
							生化学2	2 前	1.0	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	3.0	1		

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
6	専	教授	ススキヒロシ 鈴木 裕		理学博士		選択必修コースⅠ・Ⅳ(生体構造機能蛋白・病態解析コース)	3・4 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成11年8月)	5日
							選択必修コース【生化学講座(機能分子科学分野)】	3 後	0.7	1		
							代謝栄養学	1 後	0.1	1		
7	専	教授	ウシケ マス効 牛首 文隆		博士(医学)		薬理学	2 後	0.3	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成10年10月)	5日
							薬理学実習	3 前	1.0	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.3	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コースⅢ・Ⅵ(糖尿病:内分泌Up・Dateコース)	3・4 後	0.1	1		
							薬理学	2 後	0.2	1		
8	専	教授	ニシカワ ユウジ 西川 祐司		博士(医学)		医学チュートリアルⅠ	1 前	0.8	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成21年11月)	5日
							病理学	2 後	1.2	1		
							腫瘍学Ⅰ	3 後	0.1	1		
							病理学実習	3 前	0.3	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.5	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.5	1		
							医学研究特論	4 前	3.0	1		
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(年齢と適応の医学コース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(EBM・CPCコース)	3・4 後	0.5	1		
							選択必修コース【病理学講座(腫瘍病理分野)】	3 後	0.7	1		
9	専	教授	コバヤシヒロヤ 小林 博也		博士(医学)		免疫学	2 前	0.2	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成23年7月)	5日
							免疫学実習	2 前	0.4	1		
							病理学	2 後	0.2	1		
							病理学実習	3 前	0.1	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.3	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(EBM・CPCコース)	3・4 後	0.5	1		
選択必修コース【病理学講座(免疫病理分野)】	3 後	0.5	1									
10	専	教授	ワカミヤ ノブ効 若宮 伸隆		博士(医学)		免疫学	2 前	0.2	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成12年11月)	5日
							免疫学実習	2 前	0.2	1		
							微生物学	2 後	2.0	1		
							基礎医学特論	2 後	0.1	1		
							微生物学実習	3 前	0.5	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.3	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コースⅠ・Ⅳ(臨床感染症学コース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コースⅠ・Ⅳ(生体構造機能蛋白・病態解析コース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コース【微生物学講座】	3 後	0.5	1		
11	専	教授	ヨシダ ヲヒコ 吉田 貴彦		博士(医学)		基礎医学特論	2 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成12年1月)	5日
							医療概論3	3 前	0.1	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.2	1		
							衛生・公衆衛生学	4 前	0.7	1		
							衛生・公衆衛生実習	4 後	0.7	1		
							健康弱者のための医学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.2	1		
							環境科学	1・2 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	1.5	1		
							選択必修コース【「健康に関わる研究の実際」コース】	3 後	0.3	1		
							国際保健看護論	4 前	0.1	1		
							公衆衛生看護活動論Ⅰ	3 前	0.1	1		
							臨床実習選択Ⅱ	6 前	0.7	1		
							早期体験実習Ⅰ	1 前	0.3	1		
							早期体験実習Ⅱ	2 前	0.5	1		
							医療概論Ⅱ	2 前	0.1	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.2	1		
							環境科学	1・2 前	0.1	1		
							衛生・公衆衛生学	4 前	0.3	1		
衛生・公衆衛生実習	4 後	0.7	1									

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
12	専	教授	サイジヨウヤスアキ 西條 泰明		博士(医学)		臨床疫学	4 後	0.5	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成21年9月)	5日
							医学英語IVB	4 前	0.2	1		
							医学研究特論	4 前	1.5	1		
							選択必修コース【「健康に関わる研究の実際」コース】	3 後	0.3	1		
							疫学 I	2 前	0.4	1		
							保健統計 I	2 前	0.3	1		
							早期体験実習 II	2 前	0.1	1		
							臨床実習選択 II	6 前	0.7	1		
13	専	教授	サコヤスト 迫 康仁		博士(獣医学)		医学チュートリアル II	2 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成25年5月)	5日
							免疫学実習	2 前	0.2	1		
							寄生虫学	2 後	1.0	1		
							基礎医学特論	2 後	0.1	1		
							寄生虫学実習	3 前	0.5	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	3.0	1		
							選択必修コース【研究活動の体験】	3 後	0.7	1		
							環境科学	1・2 前	0.1	1		
							臨床実習選択 II	6 前	0.9	1		
14	専	教授	シス ケイ 清水 恵子		博士(医学)		免疫学実習	2 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成17年11月)	5日
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							法医学	4 前	0.7	1		
							法医学実習	4 後	0.1	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							臨床実習選択 II	6 前	0.7	1		
15	専	教授	ハセハ ナオキ 長谷部 直幸		博士(医学)		医用物理学	1 通	0.2	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成19年6月)	5日
							症候別・課題別講義	4 通	0.1	1		
							心配病態制御医学	3 前	0.6	1		
							医学英語IVA	3 後	0.2	1		
							医療情報学	4 後	0.1	1		
							医学英語IVB	4 前	0.2	1		
							医学研究特論	4 前	1.5	1		
							選択必修コース II・V (加齢と適応の医学コース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コース III・VI (糖尿病:内分泌Up・Dateコース)	3・4 後	0.1	1		
							臨床実習 II	5 通	6.9	1		
							臨床実習選択 I・II	6 前	4.0	1		
16	専	教授	オオタ ヲグヒト 太田 嗣人		博士(医学)		臨床実習 II	5 通	8.4	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成29年9月)	5日
							臨床実習選択 I・II	6 前	6.4	1		
							生体調節医学	3 後	0.3	1		
							症候別・課題別講義	4 通	0.1	1		
17	専	教授	オムラトシカウ 奥村 利勝		博士(医学)		腫瘍学1	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成14年12月)	5日
							消化器医学	3 前	0.2	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							腫瘍学2	4 前	0.1	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース I・IV (ニューロサイエンスコース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コース II・V (漢方医学コース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コース II・V (EBM・CPCコース)	3・4 後	0.3	1		
							臨床実習 II	5 通	8.3	1		
臨床実習選択 I・II	6 前	5.6	1									
18	専	教授	チバシゲル 千葉 茂		博士(医学)		精神・神経病態医学	3 後	1.0	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成09年9月)	5日
							医学英語IVA	3 後	0.1	1		
							医学英語IVB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	1.3	1		
							選択必修コース II・V (睡眠医学コース)	3・4 後	0.3	1		
							臨床実習 II	5 通	3.9	1		
臨床実習選択 I・II	6 前	1.5	1									
19	専	教授	アスマヒロシ 東 寛		博士(医学)		生体防御医学	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成23年8月)	5日
							医学英語IVA	3 後	0.1	1		
							生殖発達医学	4 前	0.2	1		
							医学英語IVB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	1.3	1		
							選択必修コース I・IV (臨床薬理学コース)	3・4 後	0.1	1		
							臨床実習 II	5 通	11.6	1		
臨床実習選択 I・II	6 前	9.3	1									

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数									
20	専	教授	アスマノフユシ 東 信良		博士(医学)		医療概論3	3 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成24年6月)	5日									
							心配病態制御医学	3 前	0.2	1											
							医学英語IVA	3 後	0.3	1											
							医学英語IVB	4 前	0.3	1											
							医学研究特論	4 前	3.0	1											
							臨床実習 I	5 通	6.6	1											
							臨床実習選択 I・II	6 前	4.0	1											
21	専	教授	カミヤヒロユキ 紙谷 寛之		博士(医学)		心配病態制御医学	3 前	0.2	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成26年3月)	5日									
							医学英語IVA	3 後	0.3	1											
							医学英語IVB	4 前	0.3	1											
							医学研究特論	4 前	3.0	1											
							臨床実習 I	5 通	6.6	1											
							臨床実習選択 I・II	6 前	4.0	1											
							22	専	教授	フルカワヒロユキ 古川 博之				博士(医学)		医療概論3	3 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成22年1月)	5日
腫瘍学1	3 後	0.1	1																		
消化器医学	3 前	0.1	1																		
医学英語IVA	3 後	1.0	1																		
腫瘍学2	4 前	0.1	1																		
医学英語IVB	4 前	1.0	1																		
医学研究特論	4 前	9.0	1																		
臨床実習 I	5 通	6.6	1																		
臨床実習選択 I・II	6 前	4.0	1																		
23	専	教授	イトウヒロシ 伊藤 浩		博士(医学)		医学英語IVA	3 後	0.2	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成24年5月)	5日									
							整形外科学	4 前	0.1	1											
							医学英語IVB	4 前	0.2	1											
							医学研究特論	4 前	1.5	1											
							臨床実習IV	5 通	1.7	1											
							臨床実習選択 I・II	6 前	1.2	1											
							24	専	教授	ヤマモトアケミ 山本 明美				博士(医学)		症候別・課題別講義	4 通	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成26年7月)	5日
医療概論3	3 前	0.4	1																		
医学英語IVA	3 後	0.3	1																		
感覚器病態医学	3 後	0.6	1																		
選択必修コース I・IV(生体構造機能蛋白・病態解析コース)	3・4 後	0.1	1																		
医学英語IVB	4 前	0.3	1																		
医学研究特論	4 前	1.8	1																		
看護管理論	4 前	0.1	1																		
臨床実習III	5 通	3.1	1																		
臨床実習選択 I・II	6 前	1.8	1																		
25	専	教授	カキザキヒデヒロ 柿崎 秀宏		博士(医学)		生体調節医学	3 後	0.0	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成17年6月)	5日									
							医学英語IVA	3 後	0.2	1											
							医学英語IVB	4 前	0.2	1											
							医学研究特論	4 前	1.5	1											
							臨床実習III	5 通	3.4	1											
							臨床実習選択 I・II	6 前	2.4	1											
							26	専	教授	ハラブチヤスアキ 原淵 保明				博士(医学)		感覚器病態医学	3 後	0.2	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成10年11月)	5日
医学英語IVA	3 後	0.2	1																		
医学英語IVB	4 前	0.2	1																		
医学研究特論	4 前	1.8	1																		
臨床実習III	5 通	2.8	1																		
臨床実習選択 I・II	6 前	1.8	1																		
27	専	教授	センゴウカスオ 千石 一雄		博士(医学)						症候別・課題別講義	4 通				0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成17年4月)	5日		
							医学英語IVA	3 後	0.5	1											
							生殖発達医学	4 前	0.2	1											
							医学英語IVB	4 前	0.5	1											
							医学研究特論	4 前	4.5	1											
							選択必修コース I・IV(臨床薬理学コース)	3・4 後	0.1	1											
							助産活動論 I	3 後	0.1	1											
							臨床実習 I	5 通	4.1	1											
							臨床実習選択 I・II	6 前	1.3	1											
							臨床放射線学	4 前	0.1	1											
28	専	教授	カハシコウジ 高橋 康二		博士(医学)		医学英語IVA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成26年1月)	5日									
							医学英語IVB	4 前	0.1	1											
							医学研究特論	4 前	0.9	1											
							臨床実習III	5 通	2.7	1											
							臨床実習選択 I・II	6 前	3.2	1											
							29	専	教授	クニサワタユキ 國澤 卓之				博士(医学)		医学英語IVA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成27年10月)	5日
																麻酔・集中治療学	4 前	0.1	1		
医学英語IVB	4 前	0.1	1																		
医学研究特論	4 前	0.7	1																		
選択必修コース I・IV(臨床薬理学コース)	3・4 後	0.1	1																		
臨床実習III	5 通	2.0	1																		
臨床実習選択 I・II	6 前	1.7	1																		
							症候別・課題別講義	4 通	0.1	1											
							精神・神経病態医学	3 後	0.1	1											
							腫瘍学2	4 前	0.1	1											

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
30	専	教授	カタダ キヨウスケ 鎌田 恭輔		博士(医学)		医学英語IVA 医学英語IVB 医学研究特論 選択必修コースⅠ・Ⅳ (ニューロサイエンスコース)	3後 4前 4前 3・4後	0.2 0.2 1.8 0.1	1 1 1 1	旭川医科大学医学部・教授 (平成22年1月)	5日
31	専	教授	フジイ サトシ 藤井 聡		博士(医学)		症候別・課題別講義 医学英語IVA 臨床検査学 医学英語IVB 医学研究特論 選択必修コースⅢ・Ⅵ(糖尿病:内分Up・Dateコース) 免疫学実習 医療安全 臨床検査論 臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅱ	4通 3後 4後 4前 4前 3・4後 2前 4後 4前 5通 6前	0.1 0.3 0.2 0.3 3.0 0.1 0.1 0.2 0.2 4.8 1.3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・教授 (平成26年4月)	5日
32	専	教授	フジタ サトシ 藤田 智		博士(医学)		医学英語IVA 医療概論4 麻酔・集中治療学 医学英語IVB 医学研究特論 選択必修コースⅠ・Ⅳ(臨床薬理学コース) 選択必修コースⅢ・Ⅵ(救急・プライマリケアコース) 臨床実習Ⅳ 臨床実習選択Ⅱ	3後 4後 4前 4前 4前 3・4後 3・4後 5通 6前	0.1 0.2 0.1 0.1 0.7 0.1 0.2 2.5 0.7	1 1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・教授 (平成22年9月)	5日
33	専	教授	オオタ テツオ 大田 哲生		博士(医学)		腫瘍学1 健康弱者のための医学 リハビリテーション看護学 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅱ	3後 4前 2前 5通 6前	0.1 1.1 0.3 9.2 2.7	1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・教授 (平成23年6月)	5日
34	専	教授	ヒロカワ ヒロキ 廣川 博之		博士(医学)		感覚器病態医学 医療情報学 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 4後 5通 6前	0.1 0.2 1.7 1.2	1 1 1 1	旭川医科大学医学部・教授 (平成11年6月)	5日
35	専	教授	オオサキ ヨシノブ 大崎 能伸		博士(医学)		腫瘍学1 心配病態制御医学 腫瘍学2 選択必修コースⅡ・Ⅴ(加齢と適応の医学コース) 臨床薬剤・薬理・治療学 臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 3前 4前 3・4後 4通 5通 6前	0.1 0.6 0.1 0.1 0.1 6.9 4.0	1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・教授 (平成20年5月)	5日
36	専	教授	ヒラタ サトシ 平田 哲		博士(医学)		消化器医学	3前	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成20年5月)	5日
37	専	教授	タケイ ヒデヒロ 武井 英博		博士(医学)		病理学 臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅱ	2後 5通 6前	0.1 7.2 2.7	1 1 1	旭川医科大学医学部・教授 (平成27年5月)	5日
38	専	教授	ミヨカワ ナオキ 三代川 斉之		博士(医学)		腫瘍学1 臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅱ	3後 5通 6前	0.1 7.2 2.7	1 1 1	旭川医科大学医学部・教授 (平成20年5月)	5日
39	専	教授	タサキ ヨシカズ 田崎 嘉一		博士(薬学)		選択必修コースⅠ・Ⅳ(臨床薬理学コース)	3・4後	0.1	1	旭川医科大学医学部・教授 (平成25年5月)	5日
40	専	准教授	ハントウ ヨシノブ 板東 良雄		博士(医学)		機能形態基礎医学Ⅱ 基礎医学特論 形態学実習Ⅱ 医学英語IVA 医学英語IVB 選択必修コースⅢ・Ⅵ (感覚器医学の最先端コース) 医学研究特論 選択必修コースⅠ・Ⅳ (ニューロサイエンスコース) 臨床実習選択Ⅱ	2後 2後 2後 3後 4前 3・4後 4通 3・4後 6前	0.3 0.1 2.2 0.3 0.3 0.1 2.3 0.1 4.0	1 1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成25年4月)	5日
	専	准教授	コウガ ダイスケ 甲賀 大輔		博士(医学)		医学チュートリアルⅡ 機能形態基礎医学Ⅰ 形態学実習Ⅰ 医学英語IVA 医学英語IVB 形態学実習Ⅱ	2前 2前 2前 3後 4前 2後	1.0 0.7 0.5 0.3 0.3 0.3	1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成27年5月)	5日

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
41							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース[「免疫組織化学の原理と実際」コース]	3 後	0.7	1		
							臨床実習選択Ⅱ	6 前	1.3	1		
42	専	准教授	カウ ツヨシ 加藤 剛志		理学博士		医学チュートリアルⅡ	2 前	0.4	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成12年5月)	5日
						生化学1	2 前	0.9	1			
						生化学実習	2 前	1.0	1			
						医学英語ⅣA	3 後	0.3	1			
						医学英語ⅣB	4 前	0.3	1			
						医学研究特論	4 前	2.3	1			
						選択必修コース[生化学講座(細胞制御科学分野)]	3 後	0.5	1			
						臨床実習選択Ⅱ	6 前	0.7	1			
43	専	准教授	ダイホ カシ 大保 貴嗣		理学博士		医学英語ⅣA	3 後	0.3	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成16年3月)	5日
						医学英語ⅣB	4 前	0.3	1			
						医学研究特論	4 前	3.0	1			
						選択必修コース[生化学講座(機能分子科学分野)]	3 後	0.7	1			
						生化学1	2 前	1.0	1			
						生化学実習	2 前	1.0	1			
						基礎医学特論	2 後	0.1	1			
						選択必修コースⅠ・Ⅳ(生体構造機能蛋白・病態解析コース)	3・4 後	0.1	1			
						代謝栄養学	1 後	0.1	1			
44	専	准教授	ユキキ コウイチ 結城 幸一		博士(医学)		薬理学	2 後	0.4	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成24年4月)	5日
						基礎医学特論	2 後	0.1	1			
						薬理学実習	3 前	1.0	1			
						医学英語ⅣA	3 後	0.3	1			
						医学英語ⅣB	4 前	0.3	1			
						医学研究特論	4 前	2.3	1			
						薬理学	2 後	0.2	1			
45	専	准教授	オオタニ カツキ 大谷 克城		博士(医学)		免疫学実習	2 前	0.2	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成25年4月)	5日
						微生物学	2 後	2.0	1			
						微生物学実習	3 前	0.5	1			
						医学英語ⅣA	3 後	0.3	1			
						医学英語ⅣB	4 前	0.3	1			
						医学研究特論	4 前	2.3	1			
						選択必修コース[微生物学講座]	3 後	0.5	1			
46	専	准教授	ヨシオカ エイジ 吉岡 英治		博士(医学)		医学チュートリアルⅡ	2 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成23年11月)	5日
						基礎医学特論	2 後	0.1	1			
						医学英語ⅣA	3 後	0.2	1			
						衛生・公衆衛生学	4 前	0.2	1			
						衛生・公衆衛生実習	4 後	0.7	1			
						臨床疫学	4 後	0.3	1			
						医学英語ⅣB	4 前	0.2	1			
						医学研究特論	4 前	1.5	1			
						選択必修コース[「健康に関わる研究の実際」コース]	3 後	0.3	1			
						疫学Ⅰ	2 前	0.3	1			
						保健統計Ⅰ	2 前	0.1	1			
						臨床実習選択Ⅱ	6 前	0.7	1			
47	専	准教授	ナカオ ミル 中尾 稔		博士(医学)		医学チュートリアルⅡ	2 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成19年4月)	5日
						免疫学	2 前	0.3	1			
						免疫学実習	2 前	0.2	1			
						寄生虫学	2 後	1.0	1			
						寄生虫学実習	3 前	0.5	1			
						医学英語ⅣA	3 後	0.3	1			
						医学英語ⅣB	4 前	0.3	1			
						医学研究特論	4 前	3.0	1			
						選択必修コース[研究活動の体験]	3 後	0.7	1			
						環境科学	1・2 前	0.1	1			
						臨床実習選択Ⅱ	6 前	0.9	1			
48	専	准教授	アサリ マサル 浅利 優		博士(医学)		免疫学実習	2 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成27年1月)	5日
						基礎医学特論	2 後	0.1	1			
						医学英語ⅣA	3 後	0.3	1			
						法医学実習	4 後	0.0	1			
						医学英語ⅣB	4 前	0.3	1			
						医学研究特論	4 前	2.3	1			
						臨床実習選択Ⅱ	6 前	0.7	1			
						生体調節医学	3 後	0.3	1			
						医学英語ⅣA	3 後	0.2	1			
						医学英語ⅣB	4 前	0.2	1			

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
49	専	准教授	フジノ ヲユキ 藤野 貴行		博士(医学)		医学研究特論 選択必修コースⅡ・Ⅴ(年齢と適応の医学コース) 臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4前 3・4後 5通 6前	1.5 0.1 6.9 4.0	1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成29年5月)	5日
50	専	准教授	マキノ ユウイチ 牧野 雄一		博士(医学)		症候別・課題別講義 生体調節医学 生体防御医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4通 3後 3後 3後 4前 4前 5通 6前	0.1 0.4 0.4 0.1 0.1 0.9 8.4 6.4	1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成23年10月)	5日
51	専	准教授	フジヤ ミキヒロ 藤谷 幹浩		博士(医学)		症候別・課題別講義 腫瘍学Ⅰ 消化器医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 選択必修コースⅠ・Ⅳ(生体構造機能蛋白・病態解析コース) 臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4通 3後 3前 3後 4前 4前 3・4後 5通 6前	0.1 0.1 0.6 0.3 0.3 2.3 0.1 8.3 5.6	1 1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成20年4月)	5日
52	専	准教授	ミヅカミ ユウスケ 水上 裕輔		博士(医学)		臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5通 6前	8.3 5.6	1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成29年1月)	5日
53	専	准教授	タムラ ヨシユキ 田村 義之		博士(医学)		精神・神経病態医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 選択必修コースⅠ・Ⅳ(臨床薬理学コース) 選択必修コースⅡ・Ⅴ(睡眠医学コース) 臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 3後 4前 4前 3・4後 3・4後 5通 6前	0.3 0.1 0.1 1.3 0.1 0.1 3.9 1.5	1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成20年4月)	5日
54	専	准教授	ナカヤケン 長屋 建		博士(医学)		医学英語ⅣA 生殖発達医学 医学英語ⅣB 医学研究特論 助産活動論Ⅲ 臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 4前 4前 4前 4前 5通 6前	0.1 0.1 0.1 1.3 0.1 11.6 9.3	1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成29年2月)	5日
55	専	准教授	ホンマ マサル 本間 大		博士(医学)		感覚器病態医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 選択必修コースⅠ・Ⅳ(臨床薬理学コース) 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 3後 4前 4前 3・4後 5通 6前	0.2 0.3 0.3 1.8 0.1 3.1 1.8	1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成26年9月)	5日
56	専	准教授	カタダ アキヒロ 片田 彰博		博士(医学)		症候別・課題別講義 医学英語ⅣA 健康弱者のための医学 医学英語ⅣB 医学研究特論 選択必修コースⅢ・Ⅵ(感覚器医学の最先端コース) 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4通 3後 4前 4前 4前 3・4後 5通 6前	0.1 0.2 0.1 0.2 1.8 0.1 2.8 1.8	1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成28年10月)	5日
57	専	准教授	ハヤシ タツヤ 林 達哉		博士(医学)		医療安全 感覚器病態医学 選択必修コースⅢ・Ⅵ(感覚器医学の最先端コース) 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4後 3後 3・4後 3後 4前 4前 5通 6前	0.1 0.1 0.1 0.2 0.2 1.8 2.8 1.8	1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成18年10月)	5日
58	専	准教授	オキサキ アツタ 沖崎 貴琢		博士(医学)		医用機器学 精神・神経病態医学 医学英語ⅣA 臨床放射線学 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅲ	2前 3後 3後 4前 4前 4前 5通	0.2 0.1 0.1 0.1 0.1 0.9 2.7	1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成27年2月)	5日

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数									
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	3.2	1											
59	専	准教授	タカワ マサヲ 竹川 政範		博士(医学)		感覚器病態医学	3後	0.2	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成24年6月)	5日									
							医学英語ⅣA	3後	0.5	1											
							医学英語ⅣB	4前	0.5	1											
							医学研究特論	4前	4.5	1											
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(睡眠医学コース)	3・4後	0.1	1											
							臨床実習Ⅰ	5通	3.6	1											
							臨床実習選択Ⅱ	6前	1.0	1											
60	専	准教授	オカダ モイ 岡田 基		博士(医学)		医学英語ⅣA	3後	0.1	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成26年11月)	5日									
							医学英語ⅣB	4前	0.1	1											
							医学研究特論	4前	0.7	1											
							医療概論4	4後	0.1	1											
							麻酔・集中治療学	4前	0.1	1											
							選択必修コースⅢ・Ⅵ(救急・プライマリケアコース)	3・4後	0.1	1											
							臨床実習Ⅳ	5通	2.5	1											
							臨床実習選択Ⅱ	6前	0.7	1											
							61	専	准教授	コキタ ナオヒロ 小北 直宏				博士(医学)		医学チュートリアルⅢ	4前	2.0	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成21年2月)	5日
医学英語ⅣA	3後	0.1	1																		
医療概論4	4後	0.1	1																		
麻酔・集中治療学	4前	0.1	1																		
医学研究特論	4前	0.7	1																		
選択必修コースⅢ・Ⅵ(救急・プライマリケアコース)	3・4後	0.1	1																		
医学英語ⅣB	4前	0.1	1																		
症候別・課題別講義	4通	0.1	1																		
臨床実習Ⅳ	5通	2.5	1																		
臨床実習選択Ⅱ	6前	0.7	1																		
62	専	准教授	ノヅ ツカサ 野津 司		博士(医学)		早期体験実習Ⅰ	1前	0.5	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成22年6月)	5日									
							地域医療学	1前	0.5	1											
							早期体験実習Ⅱ	2前	0.5	1											
							選択必修コースⅠ・Ⅳ(臨床薬理学コース)	3・4後	0.1	1											
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(EBM・CPCコース)	3・4後	0.1	1											
							早期体験実習Ⅱ	2前	0.1	1											
							臨床実習Ⅱ	5通	4.8	1											
臨床実習選択Ⅱ	6前	1.8	1																		
63	専	准教授	タカハシ タツシ 高橋 龍尚		博士(工学)		情報統計学	1前	1.0	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成14年11月)	5日									
							統計学実習	1後	0.5	1											
							情報リテラシー	1前	1.0	1											
64	専	准教授	トリモト ヨシヒロ 鳥本 悦宏		博士(医学)		免疫学	2前	0.3	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成16年10月)	5日									
							腫瘍学1	3後	0.1	1											
							生体防御医学	3後	0.3	1											
							腫瘍学2	4前	0.1	1											
							症候別・課題別講義	4通	0.1	1											
65	専	准教授	フジタ マサヒデ 福土 将秀		博士(薬学)		医学英語ⅣA	3後	0.3	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成26年4月)	5日									
							薬理学	2後	0.1	1											
							臨床薬剤・薬理・治療学	4通	0.4	1											
							薬理学	2後	0.2	1											
							心配病態制御医学	3前	0.2	1											
66	専	准教授	キタダ マサヒロ 北田 正博		博士(医学)		腫瘍学2	4前	0.1	1	旭川医科大学医学部・准教授 (平成20年7月)	5日									
							生殖発達医学	4前	0.1	1											
							症候別・課題別講義	4通	0.1	1											
							臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1											
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1											
							67	専	講師	ミヤヅ モイ 宮津 基				博士(医学)		機能形態基礎医学Ⅱ	2後	0.2	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成22年4月)	5日
																生理学実習・演習	3前	2.0	1		
医学英語ⅣA	3後	0.3	1																		
医学英語ⅣB	4前	0.3	1																		
医学研究特論	4前	2.3	1																		
選択必修コース【生理学講座(自律機能分野)】	3後	0.5	1																		
臨床実習選択Ⅱ	6前	0.7	1																		
68	専	講師	ノグチモト ヒロ 野口 智弘		博士(情報工学)		生理学実習・演習	3前	2.0	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成24年6月)	5日									
							医学英語ⅣA	3後	0.3	1											
							医学英語ⅣB	4前	0.3	1											
							医学研究特論	4前	2.3	1											
							選択必修コース【生理学講座(神経機能分野)】	3後	0.5	1											
							形態機能学	1通	0.8	1											
							生体観察実習	1後	0.1	1											
							医学チュートリアルⅡ	2前	0.2	1											
							生化学1	2前	1.0	1											
							生化学2	2前	1.0	1											
							生化学実習	2前	1.0	1											

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
69	専	講師	ヤザワ カシ 矢澤 隆志		博士(理学)		基礎医学特論	2 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成25年10月)	5日
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コースⅠ・Ⅳ(生体構造機能蛋白・病態解析コース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コース【生化学講座(細胞制御科学分野)】	3 後	0.5	1		
							医用物理学	1 通	0.1	1		
							代謝栄養学	1 後	0.1	1		
臨床実習選択Ⅱ	6 前	0.7	1									
70	専	講師	ヤマサキ カスオ 山崎 和生		博士(理学)		医学チュートリアルⅡ	2 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成23年4月)	5日
							生化学実習	2 前	1.0	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	3.0	1		
							選択必修コース【生化学講座(機能分子科学分野)】	3 後	0.7	1		
71	専	講師	ヤマモト マサヒロ 山本 雅大		博士(医学)		病理学	2 後	0.4	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成28年4月)	5日
							基礎医学特論	2 後	0.1	1		
							病理学実習	3 前	0.3	1		
							医学英語IVA	3 後	0.5	1		
							医学英語IVB	4 前	0.5	1		
							医学研究特論	4 前	3.0	1		
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(E・BM・CPCコース)	3・4 後	0.5	1		
							選択必修コース【病理学講座(腫瘍病理分野)】	3 後	0.7	1		
							医療概論3	3 前	0.4	1		
							臨床実習選択Ⅱ	6 前	1.3	1		
72	専	講師	アイサワ ナオコ 相澤 直子		博士(医学)		医学チュートリアルⅡ	2 前	0.4	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成23年9月)	5日
							免疫学実習	2 前	0.4	1		
							病理学	2 後	0.5	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(E・BM・CPCコース)	3・4 後	0.5	1		
							選択必修コース【病理学講座(免疫病理分野)】	3 後	0.5	1		
							免疫学	2 前	0.1	1		
病理学実習	3 前	0.3	1									
73	専	講師	オオクリ ヲユキ 大栗 敬幸		博士(医学)		医学チュートリアルⅡ	2 前	0.3	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成29年4月)	5日
							免疫学	2 前	0.1	1		
							免疫学実習	2 前	0.4	1		
							基礎医学特論	2 後	0.1	1		
							腫瘍学1	3 後	0.1	1		
							病理学実習	3 前	0.1	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース【病理学講座(免疫病理分野)】	3 後	0.5	1		
74	専	講師	オカサワラ ジュンエイ 小笠原 準悦		博士(理学)		臨床実習選択Ⅱ	6 前	0.7	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成29年1月)	5日
							医学チュートリアルⅡ	2 前	1.0	1		
75	専	講師	カタヤマ タユキ 片山 隆行		博士(医学)		精神・神経病態医学	3 後	0.5	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成22年4月)	5日
							医学英語IVA	3 後	0.2	1		
							医学英語IVB	4 前	0.2	1		
							医学研究特論	4 前	1.5	1		
							選択必修コースⅠ・Ⅳ(ニューロサイエンスコース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(加齢と適応の医学コース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コースⅢ・Ⅵ(臨床遺伝学コース)	3・4 後	0.1	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	6.9	1		
臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1									
76	専	講師	タケウチ トシハル 竹内 利治		学士(医学)		心配病態制御医学	3 前	0.2	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成25年4月)	5日
							臨床実習Ⅱ	5 通	6.9	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
							医療概論3	3 前	0.4	1		
							医学英語IVA	3 後	0.1	1		
							健康弱者のための医学	4 前	0.1	1		
							臨床疫学	4 後	0.1	1		

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
77	専	講師	アビコアツコ 安孫子 亜津子		博士(医学)		選択必修コースⅠ・Ⅳ(臨床薬理学コース)	3・4 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成21年4月)	5日
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.4	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	6.4	1		
78	専	講師	アノウカスノブ 麻生 和信		学士(医学)		症候別・課題別講義	4 通	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成23年10月)	5日
							消化器医学	3 前	0.3	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.4	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	6.4	1		
79	専	講師	イタカツヤ 生田 克哉		博士(医学)		症候別・課題別講義	4 通	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成23年3月)	45
							生体防御医学	3 後	0.3	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.3	1		
							腫瘍学2	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.3	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	5.6	1		
80	専	講師	シンドウモトヒロ 進藤 基博		博士(医学)		生体防御医学	3 後	0.4	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成27年4月)	5日
							症候別・課題別講義	4 通	0.1	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.3	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	5.6	1		
81	専	講師	モリイチケンタロウ 盛一 健太郎		博士(医学)		消化器医学	3 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成25年4月)	5日
							医学英語ⅣA	3 後	0.3	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コースⅠ・Ⅳ(臨床薬理学コース)	3・4 後	0.1	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.3	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	5.6	1		
82	専	講師	オカモトシオ 岡本 年男		学士(医学)		生殖発達医学	4 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成29年7月)	5日
							臨床実習Ⅱ	5 通	11.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	9.3	1		
83	専	講師	タナハシユウスケ 棚橋 祐典		博士(医学)		症候別・課題別講義	4 通	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成26年9月)	5日
							生体調節医学	3 後	0.1	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.1	1		
							生殖発達医学	4 前	0.2	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	1.3	1		
							選択必修コースⅢ・Ⅵ(糖尿病:内分泌Up・Dateコース)	3・4 後	0.1	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	11.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	9.3	1		
84	専	講師	タナハシサトル 高橋 悟		博士(医学)		症候別・課題別講義	4 通	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成20年10月)	5日
							医学英語ⅣA	3 後	0.1	1		
							生殖発達医学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							精神・神経病態医学	3 後	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	1.3	1		
							選択必修コースⅠ・Ⅳ(ニューロサイエンスコース)	3・4 後	0.1	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	11.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	9.3	1		
85	専	講師	ミヤモトカズトシ 宮本 和俊		学士(医学)		心配病態制御医学	3 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成22年9月)	5日
							生殖発達医学	4 前	0.1	1		
							臨床実習Ⅰ	5 通	6.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
86	専	講師	サイノウユキヒロ 齊藤 幸裕		博士(医学)		症候別・課題別講義	4 通	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成26年7月)	5日
							医学英語ⅣA	3 後	0.3	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.3	1		
							心配病態制御医学	3 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	3.0	1		
							臨床実習Ⅰ	5 通	6.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
87	専	講師	コヤアツヒロ 古屋 敦宏		学士(医学)		心配病態制御医学	3 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成27年10月)	5日
							症候別・課題別講義	4 通	0.1	1		
							臨床実習Ⅰ	5 通	6.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
88	専	講師	ハセガワキミハル 長谷川 公治		学士(医学)		生体防御医学	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師 (平成25年4月)	5日
							消化器医学	3 前	0.3	1		
							臨床実習Ⅰ	5 通	6.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
89	専	講師	カワハラトシヤス 川原 敏靖		博士(医学)		消化器医学	3 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・講師	5日
							臨床実習Ⅰ	5 通	6.6	1		

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1	(平成26年5月)	
90	専	講師	イマイコウジ 今井 浩二		博士(医学)		消化器医学 臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3前 5通 6前	0.4 6.6 4.0	1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成28年4月)	5日
91	専	講師	マツノナオト 松野 直徒		博士(医学)		消化器医学 症候別・課題別講義 臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3前 4通 5通 6前	0.1 0.1 6.6 4.0	1 1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成26年7月)	5日
92	専	講師	コバヤシテツヤ 小林 徹也		博士(医学)		整形外科学 臨床実習Ⅳ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4前 5通 6前	0.4 1.7 1.2	1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成26年5月)	5日
93	専	講師	タンダイスム 丹代 晋		学士(医学)		腫瘍学2 整形外科学 臨床実習Ⅳ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4前 4前 5通 6前	0.1 0.1 1.7 1.2	1 1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成28年4月)	5日
94	専	講師	タニヒロマサ 谷野 弘昌		博士(医学)		医用物理学 整形外科学 臨床実習Ⅳ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	1通 4前 5通 6前	0.1 0.2 1.7 1.2	1 1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成28年4月)	5日
95	専	講師	ホリマサコ 堀 仁子		博士(医学)		感覚器病態医学 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 5通 6前	0.1 3.1 1.8	1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成27年4月)	5日
96	専	講師	キシハマリ 岸部 麻里		博士(医学)		医学英語ⅣA 感覚器病態医学 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 3後 4前 4前 5通 6前	0.3 0.3 0.3 1.8 3.1 1.8	1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成27年4月)	5日
97	専	講師	アスミマコト 安住 誠		博士(医学)		症候別・課題別講義 医学英語ⅣA 腫瘍学2 医学英語ⅣB 生体調節医学 医学研究特論 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4通 3後 4前 4前 3後 4前 5通 6前	0.1 0.2 0.1 0.2 0.2 1.5 3.4 2.4	1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成27年4月)	5日
98	専	講師	キタマサフミ 北 雅史		博士(医学)		生体調節医学 医学英語ⅣA 生殖発達医学 医学英語ⅣB 医学研究特論 選択必修コースⅡ・Ⅴ(加齢と適応の医学コース) 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 3後 4前 4前 4前 3・4後 5通 6前	0.3 0.2 0.3 0.2 1.5 0.1 3.4 2.4	1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成27年4月)	5日
99	専	講師	ソウケンジ 十川 健司		博士(医学)		感覚器病態医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 3後 4前 4前 5通 6前	0.1 0.1 0.1 0.6 1.7 1.2	1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成29年4月)	5日
100	専	講師	カワイモトミ 川井 基史		博士(医学)		症候別・課題別講義 感覚器病態医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 選択必修コースⅢ・Ⅵ(感覚器医学の最先端コース) 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4通 3後 3後 4前 4前 3・4後 5通 6前	0.1 0.1 0.1 0.1 0.6 0.1 1.7 1.2	1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成28年4月)	5日
101	専	講師	キシハカン 岸部 幹		博士(医学)		医療概論3 感覚器病態医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 症候別・課題別講義 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3前 3後 3後 4前 4前 4通 5通 6前	0.4 0.3 0.2 0.2 1.8 0.1 2.8 1.8	1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成29年3月)	5日
102	専	講師	効ハラミキ 高原 幹		博士(医学)		感覚器病態医学 医学英語ⅣA 腫瘍学2 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 3後 4前 4前 4前 5通 6前	0.1 0.2 0.1 0.2 1.8 2.8 1.8	1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成25年10月)	5日
							生殖発達医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB	4前 3後 4前	0.3 0.5 0.5	1 1 1		

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
103	専	講師	ミヤモトソノブ 宮本 敏伸		博士(医学)		医学研究特論	4 前	4.5	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成21年6月)	5日
							選択必修コースⅢ・Ⅵ(糖尿病・内分泌Up・Dateコース)	3・4 後	0.1	1		
							臨床実習Ⅰ	5 通	4.1	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.3	1		
104	専	講師	ニシキケニヒコ 西脇 邦彦		博士(医学)		生殖発達医学	4 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成24年4月)	5日
							臨床実習Ⅰ	5 通	4.1	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.3	1		
105	専	講師	カヤマヒト 片山 英人		博士(医学)		腫瘍学2	4 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成21年4月)	5日
							生殖発達医学	4 前	0.4	1		
							臨床実習Ⅰ	5 通	4.1	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.3	1		
106	専	講師	カウヤスト 加藤 育民		博士(医学)		生殖発達医学	4 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成24年4月)	5日
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(漢方医学コース)	3・4 後	0.1	1		
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(加齢と適応の医学コース)	3・4 後	0.1	1		
							母性看護学	2 後	0.1	1		
107	専	講師	ヤマシナマサキ 山品 将祥		学士(医学)		臨床実習Ⅰ	5 通	4.1	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成28年12月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.3	1		
							消化器医学	3 前	0.1	1		
							精神・神経病態医学	3 後	0.1	1		
108	専	講師	ササトモキ 佐々木 智章		博士(医学)		医学英語ⅣA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成26年4月)	5日
							臨床放射線学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医用機器学	2 前	0.1	1		
109	専	講師	ナカジマカオリ 中島 香織		学士(医学)		医学研究特論	4 前	0.9	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成28年12月)	5日
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.7	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	3.2	1		
							腫瘍学1	3 後	0.1	1		
110	専	講師	ササカトモキ 笹川 智貴		博士(医学)		精神・神経病態医学	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成28年1月)	5日
							医学英語ⅣA	3 後	0.1	1		
							臨床放射線学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
111	専	講師	カンダヒロツグ 神田 浩嗣		博士(医学)		医学英語ⅣA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成28年12月)	5日
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.7	1		
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.0	1		
112	専	講師	ワダハジメ 和田 始		博士(医学)		臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.7	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成27年8月)	5日
							医学英語ⅣA	3 後	0.2	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.2	1		
							医学研究特論	4 前	1.8	1		
113	専	講師	アンエイリョウゴ 安栄 良悟		博士(医学)		精神・神経病態医学	3 後	0.3	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成20年4月)	5日
							医学英語ⅣA	3 後	0.2	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.2	1		
							形態学実習Ⅱ	2 後	0.1	1		

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数		
114	専	講師	アカサカ カズミ 赤坂 和美		博士(医学)		医学英語IVA	3 後	0.3	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成24年11月)	5日		
							医療概論3	3 前	0.4	1				
							生理学実習・演習	3 前	2.0	1				
							臨床検査学	4 後	0.1	1				
							医学英語IVB	4 前	0.3	1				
							医学研究特論	4 前	3.0	1				
							臨床検査論	4 前	0.1	1				
115	専	講師	ヨシダ マサツグ 吉田 将亜		博士(医学)		医学英語IVA	3 後	0.5	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成25年12月)	5日		
							医学英語IVB	4 前	0.5	1				
							感覚器病態医学	3 後	0.1	1				
							臨床実習 I	5 通	3.6	1				
							臨床実習選択 II	6 前	1.0	1				
							医学英語IVA	3 後	0.1	1				
							医療概論4	4 後	0.1	1				
116	専	講師	コバヤシ アツシ 小林 厚志		博士(医学)		医学英語IVB	4 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成29年4月)	5日		
							医学研究特論	4 前	0.7	1				
							選択必修コースⅢ・Ⅵ(救急・プライマリケアコース)	3・4 後	0.1	1				
							臨床実習IV	5 通	2.5	1				
							臨床実習選択 II	6 前	0.7	1				
							腫瘍学1	3 後	0.1	1				
							健康弱者のための医学	4 前	0.1	1				
117	専	講師	タンボ アキヒ 丹保 亜希仁		博士(医学)		臨床実習IV	5 通	2.5	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成29年4月)	5日		
							臨床実習選択 II	6 前	0.7	1				
							医療情報学	4 後	0.5	1			旭川医科大学医学部・ 講師 (平成28年4月)	5日
							腫瘍学1	3 後	0.1	1				
							健康弱者のための医学	4 前	0.1	1				
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(全人的医療・緩和ケアコース)	3・4 後	0.4	1				
							医療概論1	1 前	0.9	1				
心理・コミュニケーション実習	1 後	0.3	1											
医療史・医療哲学	1 前	1.0	1											
120	専	講師	クロサワ アツシ 黒澤 温		博士(医学)		医学チュートリアルⅢ	4 前	2.0	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成29年7月)	5日		
							医学英語IVA	3 後	0.1	1				
							麻酔・集中治療学	4 前	0.1	1				
							医学英語IVB	4 前	0.1	1				
							医学研究特論	4 前	0.7	1				
							症候別・課題別講義	4 通	0.1	1				
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.0	1				
臨床実習選択 I・II	6 前	1.7	1											
121	専	講師	カワタ ダイスケ 川田 大輔		学士(医学)		臨床実習選択 II	6 前	4.0	1	旭川医科大学医学部・ 講師 (平成29年7月)	5日		
122	専	助教	ナカザワ ヒロミ 中澤 瞳		博士(バイオサイエンス)		臨床実習選択 II	6 前	4.0	1	旭川医科大学医学部・ 助教 (平成28年7月)	5日		
123	専	助教	ノムラ タイチ 野村 太一		学士(医学)		医学チュートリアルⅡ	2 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・ 助教 (平成27年4月)	5日		
							形態学実習Ⅱ	2 後	2.2	1				
							医学英語IVA	3 後	0.3	1				
							医学英語IVB	4 前	0.3	1				
							医学研究特論	4 前	2.3	1				
							臨床実習選択 II	6 前	4.0	1				
124	専	助教	ハルミ タツオ 春見 達郎		博士(学術)		形態学実習Ⅰ	2 前	0.4	1	旭川医科大学医学部・ 助教 (平成6年4月)	5日		
							医学研究特論	4 前	2.3	1				
							形態学実習Ⅱ	2 後	0.3	1				
							医学英語IVA	3 後	0.3	1				
							医学英語IVB	4 前	0.3	1				
							医学研究特論	4 前	2.3	1				
							選択必修コース【生命科学】	3 後	0.5	1				
							科学論文の読み方・書き方	1 後	0.1	1				
							生体観察実習	1 後	0.1	1				
臨床実習選択 II	6 前	1.3	1											
125	専	助教	タケヤ コウスケ 竹谷 浩介		博士(理学)		医学チュートリアルⅡ	2 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・ 助教 (平成22年4月)	5日		
							機能形態基礎医学Ⅱ	2 後	0.2	1				
							生理学実習・演習	3 前	2.0	1				
							医学英語IVA	3 後	0.3	1				
							医学英語IVB	4 前	0.3	1				
							医学研究特論	4 前	2.3	1				
							選択必修コース【生理学講座(自律機能分野)】	3 後	0.5	1				
							臨床実習選択 II	6 前	0.7	1				

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
126	専	助教	カネコトシユキ 金子 智之		博士(理学)		医学英語IVB	4 前	0.3	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年4月)	5日
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							生理学実習・演習	3 前	2.0	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							選択必修コース【生理学講座(自律機能分野)】	3 後	0.5	1		
							生体観察実習	1 後	0.1	1		
127	専	助教	ササヅマ ヒトシ 笹島 仁		博士(薬学)		医学チュートリアルII	2 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成22年4月)	5日
							生理学実習・演習	3 前	2.0	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース【生理学講座(神経機能分野)】	3 後	0.5	1		
128	専	助教	ミヤゾノ サダハル 宮園 貞治		博士(理学)		医学チュートリアルII	2 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成23年6月)	5日
							生理学実習・演習	3 前	2.0	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース【生理学講座(神経機能分野)】	3 後	0.5	1		
129	専	助教	ウラタ ジュンスケ 宇和田 淳介		博士(理学)		医学チュートリアルII	2 前	0.4	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年12月)	5日
							生化学実習	2 前	1.0	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース【生化学講座(細胞制御科学分野)】	3 後	0.5	1		
							代謝栄養学	1 後	0.1	1		
							臨床実習選択II	6 前	0.7	1		
130	専	助教	ヤスタ サトシ 安田 哲		博士(理学)		医学チュートリアルII	2 前	0.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
131	専	助教	カワキギ ヒトシ 柏木 仁		博士(薬学)		医学チュートリアルII	2 前	0.5	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成20年4月)	5日
							薬理学	2 後	0.1	1		
							薬理学実習	3 前	1.0	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							薬理学	2 後	0.1	1		
132	専	助教	イマミチ ヨシカ 今道 力敬		博士(生物資源学)		医学チュートリアルII	2 前	0.5	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
							薬理学	2 後	0.1	1		
							薬理学実習	3 前	1.0	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
133	専	助教	コトウ マサヲ 後藤 正憲		博士(医学)		臨床実習選択II	6 前	1.3	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年5月)	5日
134	専	助教	オホシオ ヲコ 大塩 貴子		博士(医学)		医学チュートリアルII	2 前	0.9	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年6月)	5日
							病理学実習	3 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	3.0	1		
							選択必修コース【病理学講座(腫瘍病理分野)】	3 後	0.7	1		
							臨床実習選択II	6 前	1.3	1		
135	専	助教	オオクリ アケミ 大栗 朱		博士(理学)		医学チュートリアルII	2 前	0.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
136	専	助教	モリケンイチロウ 森 健一郎		修士(科学)		医学チュートリアルII	2 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成23年4月)	5日
							免疫学実習	2 前	0.2	1		
							微生物学	2 後	2.0	1		
							微生物学実習	3 前	0.5	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
137	専	助教	マツダ ヤスユキ 松田 泰幸		博士(理学)		医学チュートリアルII	2 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年4月)	5日
							免疫学実習	2 前	0.2	1		
							微生物学	2 後	2.0	1		
							微生物学実習	3 前	0.5	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							選択必修コース【微生物学講座】	3 後	0.5	1		

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
138	専	助教	ササキ ミズキ 佐々木 瑞希		博士(獣医学)		寄生虫学実習	3 前	0.5	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年5月)	5日
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							免疫学実習	2 前	0.2	1		
							選択必修コース【研究活動の体験】	3 後	0.7	1		
							寄生虫学	2 後	1.0	1		
臨床実習選択Ⅱ	6 前	0.9	1									
139	専	助教	タカヒロキ 田中 宏樹		修士(医科学)		医学チュートリアルⅡ	2 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
							免疫学実習	2 前	0.1	1		
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							臨床実習選択Ⅱ	6 前	0.7	1		
140	専	助教	オクダ カツヒロ 奥田 勝博		博士(薬学)		免疫学実習	2 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年4月)	5日
							医学英語IVA	3 後	0.3	1		
							法医学実習	4 後	0.0	1		
							医学英語IVB	4 前	0.3	1		
							医学研究特論	4 前	2.3	1		
							臨床実習選択Ⅱ	6 前	0.7	1		
141	専	助教	ヤマモト ヤスシ 山本 泰司		博士(医学)		心配病態制御医学	3 前	0.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成23年1月)	5日
							症候別・課題別講義	4 通	0.1	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	6.9	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
142	専	助教	ナカガワ ナオキ 中川 直樹		博士(医学)		生体調節医学	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年1月)	5日
							臨床疫学	4 後	0.1	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	6.9	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
143	専	助教	タテアミ 伊達 歩		学士(医学)		臨床実習Ⅱ	5 通	6.9	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
144	専	助教	サワダ ジュン 澤田 潤		博士(医学)		精神・神経病態医学	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年8月)	5日
							臨床実習Ⅱ	5 通	6.9	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
145	専	助教	タナベ ヤスコ 田邊 康子		博士(医学)		心配病態制御医学	3 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成19年8月)	5日
							臨床実習Ⅱ	5 通	6.9	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
146	専	助教	オカダ ミツヨシ 岡田 充巧		学士(医学)		消化器医学	3 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成17年6月)	5日
							医学英語IVA	3 後	0.1	1		
							医学英語IVB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.4	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	6.4	1		
147	専	助教	キタノ ヨウヘイ 北野 陽平		博士(医学)		医学英語IVA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年4月)	5日
							医学英語IVB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.4	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	6.4	1		
							生体防御医学	3 後	0.4	1		
148	専	助教	オカモト ケンサク 岡本 健作		博士(医学)		医学英語IVA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成18年8月)	5日
							医学英語IVB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.4	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	6.4	1		
							症候別・課題別講義	4 通	0.1	1		
149	専	助教	フジタ ユキヒロ 藤田 征弘		博士(医学)		医学英語IVA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成21年4月)	5日
							医学英語IVB	4 前	0.1	1		
							選択必修コースⅢ・Ⅵ(糖尿病:内分泌Up・Dateコース)	3・4 後	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.4	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	6.4	1		
150	専	助教	コトウ タクマ 後藤 拓磨		学士(医学)		消化器医学	3 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年6月)	5日
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.3	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	5.6	1		
151	専	助教	カシマ シン 嘉島 伸		博士(医学)		消化器医学	3 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年10月)	5日
152	専	助教	サワダ コウジ 澤田 康司		博士(医学)		消化器医学	3 前	0.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
							臨床実習Ⅱ	5 通	8.3	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	5.6	1		
153	専	助教	ヨシザワ モント 吉澤 門土		学士(医学)		精神・神経病態医学	3 後	0.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成20年4月)	5日
							医学英語IVA	3 後	0.1	1		
							医学英語IVB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	1.3	1		
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(睡眠医学コース)	3・4 後	0.1	1		
							臨床実習Ⅱ	5 通	3.9	1		

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	1.5	1		
154	専	助教	ヤスタ アサミ 安田 麻美		学士(医学)		医学チュートリアルV	4後	0.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
							医学英語IVB	4前	0.1	1		
							医学英語IVA	3後	0.1	1		
							医学研究特論	4前	1.3	1		
							臨床実習Ⅱ	5通	3.9	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	1.5	1		
155	専	助教	カサキ ヒロキ 高崎 英気		学士(医学)		医学チュートリアルⅢ	4前	2.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年7月)	5日
							医学英語IVB	4前	0.1	1		
							医学研究特論	4前	1.3	1		
							精神・神経病態医学	3後	0.1	1		
							医学英語IVA	3後	0.1	1		
							臨床実習Ⅱ	5通	3.9	1		
156	専	助教	ヨシハラ シンスケ 吉原 慎佑		学士(医学)		臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	1.5	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年4月)	5日
							症候別・課題別講義	4通	0.1	1		
							医学英語IVA	3後	0.1	1		
							医学英語IVB	4前	0.1	1		
							医学研究特論	4前	1.3	1		
							臨床実習Ⅱ	5通	3.9	1		
157	専	助教	カハシ ヒロノリ 高橋 弘典		学士(医学)		医学チュートリアルV	4後	0.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年5月)	5日
							生体調節医学	3後	0.1	1		
							医学英語IVA	3後	0.1	1		
							生殖発達医学	4前	0.1	1		
							医学英語IVB	4前	0.1	1		
							医学研究特論	4前	1.3	1		
							症候別・課題別講義	4通	0.1	1		
							臨床実習Ⅱ	5通	11.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	9.3	1		
158	専	助教	ナカウ コウイチ 中右 弘一		学士(医学)		臨床実習Ⅱ	5通	11.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年10月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	9.3	1		
159	専	助教	サライタ タカオ 更科 岳大		博士(医学)		臨床実習Ⅱ	5通	11.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	9.3	1		
160	専	助教	ススキ シゲル 鈴木 滋		博士(医学)		臨床実習Ⅱ	5通	11.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	9.3	1		
161	専	助教	ヒラサワ マサシ 平澤 雅敏		学士(医学)		生殖発達医学	4前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成22年9月)	5日
							臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1		
162	専	助教	イシカワ ナツヤ 石川 成津矢		学士(医学)		心配病態制御医学	3前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
							臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1		
163	専	助教	イセ ハヤト 伊勢 隼人		学士(医学)		臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年11月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1		
164	専	助教	ウチダ タイ 内田 大貴		学士(医学)		医学英語IVA	3後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成22年4月)	5日
							医学英語IVB	4前	0.1	1		
							医学研究特論	4前	0.7	1		
							臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1		
165	専	助教	キクチ シンスケ 菊地 信介		学士(医学)		臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年7月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1		
166	専	助教	ヨシダ ユリ 吉田 有里		学士(医学)		臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1		
167	専	助教	コバヤシ タイタ 小林 大太		学士(医学)		臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1		
168	専	助教	イシハシ ケイ 石橋 佳		博士(医学)		選択必修コースⅢ・Ⅵ(救急・プライマリーケアコース)	3・4後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年10月)	5日
							医学英語IVA	3後	0.1	1		
							医学英語IVB	4前	0.1	1		
							医学研究特論	4前	0.7	1		
							臨床実習Ⅳ	5通	2.5	1		
169	専	助教	ナカニ センタロウ 中西 仙太郎		学士(医学)		臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年7月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1		
170	専	助教	ミヤマト マサシ 宮本 正之		博士(医学)		臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1		
171	専	助教	ハキワラ マサヒロ 萩原 正弘		学士(医学)		臨床実習Ⅰ	5通	6.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年1月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6前	4.0	1		

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
172	専	助教	タニチカヨシ 谷 蒼良		学士(医学)		臨床実習Ⅰ	5 通	6.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
173	専	助教	シウナカ タツヤ 庄中 達也		学士(医学)		臨床実習Ⅰ	5 通	6.6	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
174	専	助教	アサイケイコ 浅井 慶子		博士(医学)		消化器医学	3 前	0.3	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年4月)	5日
							症候別・課題別講義	4 通	0.1	1		
							臨床実習Ⅰ	5 通	6.6	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	4.0	1		
175	専	助教	イエトオル 入江 徹		学士(医学)		整形外科	4 前	0.3	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成18年11月)	5日
							臨床実習Ⅳ	5 通	1.7	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1		
176	専	助教	ニシダ ヤスヒロ 西田 恭博		博士(医学)		臨床実習Ⅳ	5 通	1.7	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1		
177	専	助教	シンボ シズオ 神保 静夫		博士(医学)		医学チュートリアルⅢ	4 前	1.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	y
							医学チュートリアルⅣ	4 前	1.0	1		
							症候別・課題別講義	4 通	0.1	1		
							臨床実習Ⅳ	5 通	1.7	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1		
178	専	助教	サウ タツヤ 佐藤 達也		学士(医学)		医学英語ⅣA	3 後	0.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年5月)	5日
							医学英語ⅣB	4 前	0.2	1		
							医学研究特論	4 前	1.5	1		
							臨床実習Ⅳ	5 通	1.7	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1		
179	専	助教	アベ サトミ 阿部 里見		博士(医学)		形態学実習Ⅰ	2 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成20年4月)	5日
							整形外科	4 前	0.3	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.2	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.2	1		
							医学研究特論	4 前	1.5	1		
							選択必修コースⅢ・Ⅵ(糖尿病:内分泌Up・Dateコース)	3・4 後	0.1	1		
							臨床実習Ⅳ	5 通	1.7	1		
臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1									
180	専	助教	ミン ナオキ 三好 直樹		学士(医学)		医学英語ⅣA	3 後	0.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年4月)	5日
							整形外科	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.2	1		
							医学研究特論	4 前	1.5	1		
							臨床実習Ⅳ	5 通	1.7	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1		
181	専	助教	ウエハラ ジロウ 上原 治朗		学士(医学)		感覚器病態医学	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成20年12月)	5日
							腫瘍学2	4 前	0.1	1		
							臨床実習Ⅲ	5 通	3.1	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.8	1		
182	専	助教	シバヤ カシ 澁谷 貴史		学士(医学)		医学チュートリアルⅢ	4 前	2.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
							医学研究特論	4 前	1.8	1		
							臨床実習Ⅲ	5 通	3.1	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.8	1		
183	専	助教	イヌマシ 飯沼 晋		博士(医学)		臨床実習Ⅲ	5 通	3.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年1月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.8	1		
184	専	助教	イワサキ タケ 岩崎 剛志		学士(医学)		臨床実習Ⅲ	5 通	3.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年10月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.8	1		
185	専	助教	トイハルキ 土井 春樹		学士(医学)		臨床実習Ⅲ	5 通	3.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.8	1		
186	専	助教	ツチダ ミユ 土田 美結		学士(医学)		臨床実習Ⅲ	5 通	3.4	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	2.4	1		
187	専	助教	ハンシヨウ ヒロコ 萬上 弘子		学士(医学)		臨床実習Ⅲ	5 通	3.4	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	2.4	1		
188	専	助教	ホリ ジュンイチ 堀 淳一		学士(医学)		生体調節医学	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成23年4月)	5日
							医学英語ⅣA	3 後	0.2	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.2	1		
							医学研究特論	4 前	1.5	1		
							選択必修コースⅠ・Ⅳ(生体構造機能蛋白・病態解析コース)	3・4 後	0.1	1		
							生体防御医学	3 後	0.1	1		
							選択必修コースⅡ・Ⅴ(漢方医学コース)	3・4 後	0.1	1		
臨床実習Ⅲ	5 通	3.4	1									
臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	2.4	1									

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
189	専	助教	ワダ ナオキ 和田 直樹		博士(医学)		臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5 通 6 前	3.4 2.4	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年4月)	5日
190	専	助教	タマキ ガク 玉木 岳		学士(医学)		医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 生体調節医学 選択必修コースⅢ・Ⅵ(糖尿病:内分泌Up・Dateコース) 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3 後 4 前 4 前 3 後 3・4 後 5 通 6 前	0.2 0.2 1.5 0.4 0.1 3.4 2.4	1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
191	専	助教	ヨシカカ タカミ 善岡 尊文		学士(医学)		臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5 通 6 前	1.7 1.2	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
192	専	助教	イシイ ノブヒト 石居 信人		博士(医学)		感覚器病態医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3 後 3 後 4 前 4 前 5 通 6 前	0.1 0.1 0.1 0.6 1.7 1.2	1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
193	専	助教	オオマエ ツネアキ 大前 恒明		博士(医学)		感覚器病態医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3 後 3 後 4 前 4 前 5 通 6 前	0.1 0.1 0.1 0.6 1.7 1.2	1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年10月)	5日
194	専	助教	ニシカワ ノリコ 西川 典子		学士(医学)		感覚器病態医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3 後 3 後 4 前 4 前 5 通 6 前	0.1 0.1 0.1 0.6 1.7 1.2	1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年8月)	5日
195	専	助教	オオノ シンジ 大野 晋治		博士(医学)		臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5 通 6 前	1.7 1.2	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
196	専	助教	イシハザワ アキヒロ 石羽澤 明弘		博士(医学)		医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3 後 4 前 4 前 5 通 6 前	0.1 0.1 0.6 1.7 1.2	1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年9月)	5日
197	専	助教	クボ タケイイチ 久保田 圭一		学士(医学)		臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5 通 6 前	2.8 1.8	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年7月)	5日
198	専	助教	ノムラ ケンイチロウ 野村 研一郎		博士(医学)		生体調節医学 感覚器病態医学 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3 後 3 後 5 通 6 前	0.1 0.2 2.8 1.8	1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年4月)	5日
199	専	助教	ウエダ セイゴ 上田 征吾		博士(医学)		感覚器病態医学 選択必修コースⅡ・Ⅴ(睡眠医学コース) 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3 後 3・4 後 5 通 6 前	0.2 0.1 2.8 1.8	1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成21年4月)	5日
200	専	助教	ナガトシヒロ 長門 利純		博士(医学)		感覚器病態医学 選択必修コースⅡ・Ⅴ(年齢と適応の医学コース) 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3 後 3・4 後 5 通 6 前	0.3 0.1 2.8 1.8	1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成22年4月)	5日
201	専	助教	ウエダ ヒロト 上田 寛人		博士(医学)		生殖発達医学 臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4 前 5 通 6 前	0.3 4.1 1.3	1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年4月)	5日
202	専	助教	イチカワ ヒロトシ 市川 英俊		博士(医学)		生殖発達医学 症候別・課題別講義 臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4 前 4 通 5 通 6 前	0.1 0.1 4.1 1.3	1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成23年4月)	5日
203	専	助教	タカハシ トモアキ 高橋 知昭		博士(医学)		生殖発達医学 臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4 前 5 通 6 前	0.1 4.1 1.3	1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年4月)	5日
204	専	助教	カナイ アサコ 金井 麻子		博士(医学)		臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5 通 6 前	4.1 1.3	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
205	専	助教	タカラダ ケンペイ 寶田 健平		学士(医学)		臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5 通 6 前	4.1 1.3	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年9月)	5日
206	専	助教	ヨシザワ アキコ 吉澤 明希子		学士(医学)		生殖発達医学 臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4 前 5 通 6 前	0.1 4.1 1.3	1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成23年5月)	5日

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
207	専	助教	イシヤ シュンタ 石戸谷 俊太		博士(医学)		形態学実習Ⅱ	2 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年10月)	5日
							医用機器学	2 前	0.1	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.7	1		
208	専	助教	ヤマキ トシロ 八巻 利弘		学士(医学)		医用物理学	1 通	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成20年4月)	5日
							医学英語ⅣA	3 後	0.1	1		
							臨床放射線学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.7	1		
209	専	助教	ワタナヘ ナオミ 渡邊 尚史		学士(医学)		形態学実習Ⅱ	2 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成20年11月)	5日
							医学英語ⅣA	3 後	0.1	1		
							臨床放射線学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							腫瘍学1	3 後	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
210	専	助教	ナカヤマ ミチロ 中山 理寛		博士(医学)		医用物理学	1 通	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成23年1月)	5日
							医学英語ⅣA	3 後	0.1	1		
							臨床放射線学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
							環境科学	1・2 前	0.1	1		
211	専	助教	イダ ナカミ 飯田 高史		博士(医学)		医学英語ⅣA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成22年7月)	5日
							麻酔・集中治療学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.7	1		
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.0	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.7	1		
212	専	助教	トヤマ ユウキ 遠山 裕樹		学士(医学)		医学英語ⅣA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年4月)	5日
							麻酔・集中治療学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.7	1		
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.0	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.7	1		
213	専	助教	カンダ クミ 神田 恵		博士(医学)		医学英語ⅣA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年12月)	5日
							麻酔・集中治療学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.7	1		
							選択必修コースⅢ・Ⅵ(感覚器医学の最先端コース)	3・4 後	0.1	1		
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.0	1		
214	専	助教	タカハシ ケイ 高橋 桂哉		学士(医学)		医学英語ⅣA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年4月)	5日
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.0	1		
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.7	1		
215	専	助教	ヤマグチ タカヤ 山口 卓哉		学士(医学)		臨床実習Ⅲ	5 通	2.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年9月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.7	1		
216	専	助教	イワサキ ハジメ 岩崎 肇		博士(医学)		医学英語ⅣA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年4月)	5日
							麻酔・集中治療学	4 前	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.7	1		
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.0	1		
217	専	助教	クレケンタ 呉 健太		学士(医学)		臨床実習Ⅲ	5 通	2.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.7	1		
218	専	助教	イズミユウキ 和泉 裕己		学士(医学)		臨床実習Ⅲ	5 通	2.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.7	1		
219	専	助教	ハヤシケンタロウ 林 健太郎		学士(医学)		医学英語ⅣA	3 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
							麻酔・集中治療学	4 前	0.1	1		
							選択必修コースⅢ・Ⅵ(救急・プライマリケアコース)	3・4 後	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.7	1		

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
220	専	助教	サウマコ 佐藤 慎		学士(医学)		臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5通 6前	2.0 1.7	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年7月)	5日
221	専	助教	サガタケヒコ 嵯峨 健広		学士(医学)		臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5通 6前	2.6 1.2	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年10月)	5日
222	専	助教	タムラユキエ 田村 有希恵		学士(医学)		臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5通 6前	2.6 1.2	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年10月)	5日
223	専	助教	オカワヒロシ 小川 博司		博士(医学)		精神・神経病態医学 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 5通 6前	0.3 2.6 1.2	1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年10月)	5日
224	専	助教	ヒロシマサトル 広島 覚		博士(医学)		精神・神経病態医学 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3後 3後 4前 4前 5通 6前	0.3 0.2 0.2 1.8 2.6 1.2	1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成20年4月)	5日
225	専	助教	サイウマサ 齊藤 仁十		学士(医学)		臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5通 6前	2.6 1.2	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年10月)	5日
226	専	助教	ノシヨウヘイ 野呂 昇平		学士(医学)		医学チュートリアルⅢ 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4前 5通 6前	2.0 2.6 1.2	1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年6月)	5日
227	専	助教	カハタイサオ 河端 薫雄		博士(医学)		医学チュートリアルⅣ 医学英語ⅣA 臨床検査学 医学英語ⅣB 医学研究特論 選択必修コースⅠ・Ⅳ(生体構造機能蛋白・病態解析コース) 臨床検査論 臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅱ	4前 3後 4後 4前 4前 3・4後 4前 5通 6前	2.0 0.3 0.4 0.3 3.0 0.1 0.5 4.8 1.3	1 1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成5年4月)	5日
228	専	助教	サウヒデアキ 佐藤 栄晃		学士(歯学)		臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅱ	5通 6前	3.6 1.0	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
229	専	助教	オカミジュンヤ 小神 順也		博士(歯学)		臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅱ	5通 6前	3.6 1.0	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年10月)	5日
230	専	助教	カガチサトシ 川口 哲		学士(医学)		医療概論4 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学研究特論 臨床実習Ⅳ 臨床実習選択Ⅱ	4後 3後 4前 4前 5通 6前	0.1 0.1 0.1 0.7 2.5 0.7	1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年11月)	5日
231	専	助教	セノイツセイ 妹尾 一誠		学士(医学)		医療概論4 医学英語ⅣA 医学英語ⅣA 医学英語ⅣB 医学英語ⅣB 医学研究特論 医学研究特論 臨床実習Ⅳ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	4後 3後 3後 4前 4前 4前 4前 5通 6前	0.1 0.2 0.1 0.2 0.1 1.5 0.7 1.7 1.2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成22年12月)	5日
232	専	助教	オカワオウ 及川 欧		博士(医学)		医学チュートリアルⅥ 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅱ	4後 5通 6前	0.2 9.2 2.7	1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
233	専	助教	サイウツカサ 齋藤 司		博士(医学)		選択必修コースⅡ・Ⅴ(漢方医学コース) 臨床実習Ⅲ 臨床実習選択Ⅱ	3・4後 5通 6前	0.1 9.2 2.7	1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年4月)	5日
234	専	助教	ササキタカキ 佐々木 高明		博士(医学)		心配病態制御医学 選択必修コースⅡ・Ⅴ(年齢と適応の医学コース) 症候別・課題別講義 臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3前 3・4後 4通 5通 6前	0.1 0.1 0.1 6.9 4.0	1 1 1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
235	専	助教	オムラシユンスケ 奥村 俊介		博士(医学)		臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5通 6前	6.9 4.0	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
236	専	助教	ハヤシサトシ 林 諭史		博士(医学)		心配病態制御医学 臨床実習Ⅰ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	3前 5通 6前	0.1 6.6 4.0	1 1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成24年4月)	5日
237	専	助教	ミミヨシノリ 南 幸範		博士(医学)		臨床実習Ⅱ 臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	5通 6前	6.9 4.0	1 1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年2月)	5日

番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
238	専	助教	ユサワ サヤカ 湯澤 明夏		博士(医学)		臨床実習Ⅱ	5 通	7.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
							臨床実習選択Ⅱ	6 前	2.7	1		
239	専	助教	オヤマ カン 奥山 峰志		学士(医学)		臨床実習Ⅳ	5 通	1.7	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年5月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1		
240	専	助教	フジモト ヤスオミ 藤本 弥臣		学士(医学)		医用機器学	2 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
							形態学実習Ⅱ	2 後	0.1	1		
							医学英語ⅣA	3 後	0.1	1		
							医学英語ⅣB	4 前	0.1	1		
							医学研究特論	4 前	0.9	1		
							臨床実習Ⅲ	5 通	2.7	1		
241	専	助教	カバヤシ エリコ 高林 江里子		学士(医学)		臨床実習Ⅲ	5 通	2.7	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年6月)	5日
							臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	3.2	1		
242	専	助教	トシマ エリ 豊嶋 恵理		博士(医学)		選択必修コースⅡ・Ⅴ(加齢と適応の医学コース)	3・4 後	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年10月)	5日
							心配病態制御医学	3 前	0.1	1		
243	専	助教	オヒラ マスミ 大平 賀子		学士(医学)		医学チュートリアルⅣ	4 前	2.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成21年1月)	5日
							臨床実習Ⅱ	5 通	4.8	1		
							臨床実習選択Ⅱ	6 前	1.8	1		
244	専	助教	マツキ モトキ 松木 孝樹		博士(医学)		健康弱者のための医学	4 前	0.1	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成27年4月)	5日
							生体調節医学	3 後	0.1	1		
245	専	助教	ホリコシ ユウイチ 堀越 佑一		学士(医学)		臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	2.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成25年9月)	5日
246	専	助教	ナカジマ シュンスケ 中嶋 駿介		学士(医学)		臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年4月)	5日
247	専	助教	タカウジ シュウヘイ 高氏 修平		学士(医学)		臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年4月)	5日
248	専	助教	イトウ ユカ 衛藤 由佳		学士(医学)		臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成29年4月)	5日
249	専	助教	スズキ マサコ 鈴木 晶子		学士(医学)		臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	1.2	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成28年12月)	5日
250	専	助教	オノデラ ヨシコ 小野寺 美子		博士(医学)		臨床実習選択Ⅰ・Ⅱ	6 前	2.0	1	旭川医科大学医学部・助教 (平成26年4月)	5日

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	4 人	15 人	20 人	人	人	39 人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大 学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博 士	人	1 人	6 人	18 人	2 人	人	人	27 人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大 学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	4 人	26 人	13 人	1 人	人	人	44 人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	7 人	3 人	1 人	人	人	11 人	
	短期大 学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	31 人	29 人	6 人	人	人	人	66 人	
	修 士	人	2 人	人	人	人	人	人	2 人	
	学 士	3 人	28 人	27 人	3 人	人	人	人	61 人	
	短期大 学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	36 人	65 人	52 人	23 人	人	人	176 人	
	修 士	人	2 人	人	人	人	人	人	2 人	
	学 士	3 人	28 人	34 人	6 人	1 人	人	人	72 人	
	短期大 学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	